

第三百三十三條 前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律中ノ條規ヲ中止スルコトアル可シ

第三百三十四條 社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及其地ノ習慣ニ從フ

第三百三十五條 此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ

第三百三十六條 現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ種別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第三百三十七條 此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シ

第三百三十八條 明治九年十月第百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第六條及第九號但書、

明治十七年五月第十四號布告區町村會略、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ抵触スル成規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス
第三百三十九條 內務大臣ハ此法律實行ノ責ニ任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ

町村ノ廢置分合ニ關スル件(明治三十年三月
內務省令第三號)

第一條 町村制第四條ニ依リ新ニ町村ヲ置キタル場合ニ於テ町村長就職スルニ至ルマテ監督官廳ハ前町村吏員ニ命シ又ハ臨時ニ代理者ヲ選任シ若クハ町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ其ノ事務取扱ヲ爲サシムヘシ

前項ニ依リ事務取扱ヲ命シタル前町村ノ吏員及臨時代理者ノ給料(報酬)旅費(實費辨償額)等ハ監督官廳ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第二條 新ニ町村ヲ置キタル場合ニ於テ町村會成立スルニ至ルマテ始メテ議員ヲ選舉スルニ付町村會ノ議決スヘキ事件ハ郡參事會代ツテ之ヲ議決スヘシ

第三條 新ニ町村ヲ置キタル日ヨリ町村稅徵收ニ至ルマテ其ノ町村必要ノ費用ハ其ノ事務取扱者ニ於テ豫算ヲ設ケ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ費用ハ假ニ町村稅ヲ徵收シテ之ニ充テ又ハ前町村ノ引繼金若クハ一時

ノ借入金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條 前條第二項ニ依リ假徵收ヲ爲シタル町村稅ハ追テ町村會ニ於テ該年度ノ收支豫算ヲ議決シタル上町村稅各納人ニ對シ差引徵收ヲ爲スヘシ

第五條 町村制第四條ノ處分ヲ爲シタル爲メ町村ノ消滅シタル場合ニ於テハ其ノ財務ハ實施ノ期日ヲ限リ打切り決算スヘシ

前項ノ決算ハ其ノ事務ヲ繼承シタル町村長ヨリ其ノ町村會ニ報告スヘシ

第六條 町村制第四條ノ處分ヲ爲シタル爲メ町村ノ消滅シタル場合ニ於テ前町村ニ對スル町村稅其ノ他ノ收入ノ未納金アルトキハ其ノ部分ノ屬スル町村ノ町村長ニ於テ之ヲ徵收スヘシ

第七條 町村ノ一部ヲ分割シテ新ニ町村ヲ置キ又ハ町村ノ區域ヲ變更シタル場合ニ於テ前町村ニ對スル町村稅其ノ他ノ收入ノ未納金アルトキハ其ノ部分ノ屬スル町村ノ町村長ハ前町村長ノ囑託ニ依リ之ヲ徵收スヘシ

第八條 町村公民ノ資格要件中其ノ年限ニ關スルモノハ町村ノ廢置分合若クハ町村ノ廢置分合ニ關スル件

境界變更處分ノ爲ニ中斷セラレサルモノトス

第九條 新町村ノ役場位置ハ府縣知事ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十條 町村ヲ變シテ市ト爲シ又ハ市ヲ變シテ町村ト爲シ又ハ市制第四條ノ處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ法令中別段ノ規程アルモノヲ除ク外總テ此ノ省令ノ程規ヲ準用ス

東京市京都市大阪市ヲ除クノ外人口二十萬

以上ノ市ノ區ニ關スル件(明治三十三年三月勅令第九十八號)

第一條 本令ハ東京市、京都市、大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ市ニシテ有給ノ區長ヲ置ク地ニ之ヲ施行ス

第二條 區ヲ廢置分合シ又ハ其ノ境界ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

本條ノ處分ニ關シ其ノ區ノ財産處分ヲ要スルトキハ市參事會之ヲ議決シ内務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ

第三條 區ノ名稱及區役所ノ位置ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ市參事會之ヲ議決シ府縣知事ノ許可ヲ受ケヘシ

第四條 區ニ區長代理者ヲ置カス

第五條 區長ハ市長、市參事會若ハ市收入役ノ命ヲ承ケ又ハ其ノ委任ニ依リ區内ニ關スル市ノ事務ヲ掌ル

區長ハ市參事會ノ監督ヲ承ケ區ノ事務ヲ掌ル

前項區長ニ於テ區ノ事務ヲ處理スルニ付テハ市ノ事務ニ關スル規定ヲ準用ス

區長其ノ他區ノ吏員ハ法律命令ニ定ムルモノノ外府縣知事ノ命ヲ承ケ若ハ其ノ委任ニ依リ區内ニ關スル國及府縣ノ行政事務ヲ掌ル

區長ハ市長ノ委任ニ依リ市制第七十四條ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ掌

東京市、京都市、大阪市ヲ除クノ外人口二十萬以上ノ 五十九
市ノ區ニ關スル件 附則

ル前項ノ場合ニ於テ市長ノ委任ハ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

區長ハ區ノ附屬員及使丁ヲ監督ス

本條ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條 區長故障アルトキハ區ノ上席附屬員之ヲ代理ス

第七條 區收入役ハ市收入役ノ命ヲ承ケ若ハ其ノ委任ニ依リ區内ニ關スル市收入役ノ事務ヲ掌ル區收入役ハ區ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル

區收入役ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ本條ニ規定スルモノヲ除クノ外市收入役ニ關スル規定ヲ準用ス

本條ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ニ付テハ第五條第八項ノ規定ヲ準用ス

第八條 區收入役故障アルトキハ市參事會ノ指名シタル區ノ附屬員之ヲ代理ス

第九條 區ノ附屬員ハ區長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十條 區長ト區會トノ關係ニ付テハ市參事會ト市會トノ關係ニ關スル規定ヲ

準用ス

第十一條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村行政ニ關シ主務大臣許可ノ職權ヲ府

縣知事ニ委任ノ件(明治三十三年三月勅令第百二十三號)

市制第百二十一條第百二十二條町村制第百二十五條第百二十六條及地方學事通則第十二條ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項中左ニ掲グルモノハ府縣知事ニ於テ之ヲ許可スヘシ

一 市長代理順序、町村助役定員増加、町村長町村助役有給、公告式及學

市町村行政ニ關シ主務大臣許可ノ職權ヲ府縣知事ニ 六十一
委任ノ件 附則

務委員ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スル事
二 地租二分ノ一以下ノ附加稅ヲ賦課スル事

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

市制町村制第十五條ノ官吏ノ件(明治二十二年六月
閣令第十八號)

府縣會規則第十三條市制町村制第十五條衆議員議員選舉法第九條第十條ニ記載
シタル官吏ハ在職者ノミニ限モノトス
非職者休職者ニシテ議員又ハ市町村ノ吏員タラントスルトキハ本廳長官ノ許可
ヲ受クヘシ

東京市、京都市、大阪市ノ區ニ關スル件

(明治三十一年九月
勅令第二百十號)

- 第一條 區ニ區長代理者ヲ置カス區長故障アルトキハ上席區書記之ヲ代理ス
- 第二條 區收入役故障アルトキハ市參事會ノ指名シタル區書記之ヲ代理ス
- 第三條 區長ニ於テ財產營造物ニ關スル事務其ノ他區ニ屬スル事務ヲ處理スル
ニ付テハ市ノ事務ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第四條 區長ハ法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外府縣知事ノ指揮命令ヲ承ケ若ハ
委任ニ依リ區内ニ關スル國及府ノ行政事務ヲ管掌ス
- 第五條 區長ハ區書記其ノ他附屬員ヲ指揮監督ス
- 第六條 區收入役ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ市收入役ニ關スル規定ヲ準
用ス
- 第七條 從來ノ區會ハ之ヲ存シ新ニ區會ヲ設クルトキハ市制第百十三條ノ例ニ
依ル

市制町村制第十五條ノ官吏ノ件、東京市、京都市、大 六十三
阪市ノ區ニ關スル件 附則

區會ハ法律命令ノ範圍内ニ於テ財産及營造物ニ關スル事務其ノ他區ニ屬スル事務ヲ議定ス

區會議員ハ市ノ名譽職トス

第八條 區會議員ノ選舉施行被選舉權ノ有無、選舉人名簿ノ正否並其ノ等級ノ當否、代理ヲ以テ執行スル選舉權及區會議員ノ選舉ノ效力並區會議員當選者ノ資格ノ有無ニ關シテハ市會ニ關スル規定ヲ適用シ其ノ他區會ニ關シテハ市會ニ關スル規定ヲ準用ス

區長ト區會トノ關係ニ付テハ市參事會ト市會トノ關係ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條 區ノ名稱及區役所ノ位置ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ區會ニ於テ之ヲ議決シ區會ナキトキハ市會之ヲ議決シ府知事ノ認可ヲ受クヘシ

附則

第十一條 本令ハ明治三十一年十月一日ヨリ施行ス

市町村名及市役所町村役場位置變更方

(明治二十三年八月) 法律第七十七號

朕市町村名及市役所町村役場ノ位置變更ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市町村ノ名稱ヲ變更シ若ハ村ヲ町ト爲シ町ヲ村ト爲サントスルトキハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 市役所町村役場ノ位置ヲ變更スル市町村會ノ議決ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

市町村會議員選舉罰則 (明治二十三年五月) 法律第三十九號

市町村名及市役所町村役場位置變更方、市町村會議員選舉罰則 六十五

朕市町村會議員選舉罰則ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

市町村會議員選舉罰則

第一條 凡テ選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
議員タルコトヲ得サルノ實ヲ告ケスシテ議員トナリタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若クハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者ハ三圓以之三十圓以下ノ罰金ニ處ス

其授與又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第三條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉會場ノ近傍若クハ選舉人往來ノ途中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シタル

者ハ第二條物品授與ノ例ニ依リ處斷ス

其供給ヲ受ケタル者亦同シ

第四條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ノ爲ニ選舉會場ニ往復スル車馬賃又ハ路費若クハ宿泊料ノ類ヲ代辨シ又ハ代辨スルコトヲ約束シタル者ハ第二條金錢授與ノ例ニ依リ處斷ス
其代辨又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第五條 第二條第三條及第四條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ刑法第二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス

第六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ十五日以上三月以下ノ輕罰禁ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ヲ脅逼シ拐引シ若クハ其往來ノ便ヲ妨グ若クハ詐偽ノ手段ヲ以テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ第六條暴行ノ例ニ依リ處斷ス

市町村會議員選舉罰則

第八條 第六條及第七條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ二月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九條 選舉人ヲ脅逼シ若クハ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ扣留毀壞若クハ劫奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ二月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 選舉ノ際選舉ニ關スル吏員若クハ選舉掛ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ扣留毀壞若クハ劫奪シタル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十一條 多衆ヲ嘯聚シテ第十條ノ罪ヲ犯シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 第九條第十條第十一條ノ場合ニ於テ犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帶シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第十三條 選舉會場所在ノ郡市内ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ張ル爲多衆集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ霰火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用井ル等ノ所業ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受ルモ仍ホ其命ニ從ハサル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十四條 被選人タルコトヲ得ル者ヲ指シテ被選人タルコトヲ得ス又ハ當選ヲ承諾スルノ意ヲシトシテ虚報ヲ流傳セシメタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 戎器又ハ兇器ヲ携帶シテ選舉會場ニ入りタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ張札ノ類ヲ公然揭示シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シ又ハ選舉人タルゴトヲ得スシテ投票ヲ爲シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 當選人第二條乃至第十六條ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其當選ハ無効トス

第十九條 本法ニ規定シタルモノノ外刑法ニ正條アルモノハ各々其條ニ依リ重キニ從テ處斷ス

第二十條 本法ニ關スル犯罪ハ六箇月ヲ以テ期滿免除トス

第二十一條 本法ハ市町村會ノ外市制町村制並ニ明治二十二年法律第十一號ニ據リテ開設スル各種ノ議會ノ議員選舉ニモ適用ス

町村制ヲ施行セサル島嶼(明治二十二年一月勅令第一號)

朕町村制ヲ施行セサル島嶼指定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
町村制第三百二十二條ニ依リ町村制ヲ施行セサル島嶼左ノ通指定ス

東京府管下

小笠原島 伊豆七島

長崎縣管下

對馬國

島根縣管下

隱岐國

鹿児島縣管下

大隅國大島郡

大島 徳ノ島 喜界島 沖永良部島 與論島

町村制ヲ施行セサル島嶼

陸奥國川邊郡

硫黃島 黒島 竹島 口之島 臥蛇島 平島 中之島
悪石島 諏訪ノ瀬島 寶島

市町村制中直接税間接税ノ類別

(二十一年七月 大藏省告示第九十五號)

本年法律第一號市制第百三十一條町村制第百三十六條直接税間接税ノ類別ハ左ノ諸税ヲ以テ直接税トシ其他ハ間接税トス但府縣區町村ニ於テ特ニ徵收スルモノハ府縣知事ノ稟申ヲ以テ之ヲ定メ其直接トスヘキモノハ府縣知事ヲシテ管内ニ告示セシム

國稅

地租 所得稅 (所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中無記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ除ク)(三十二年八月大藏省告示第四十七號ヲ以テ追加) 營

業稅 (二十九年七月大藏省告示第五十四號ヲ以テ追加)

府縣稅 (二十五年大藏省告示第三十九號ヲ以テ地方稅ヲ府縣稅ト改ム)

地租割 戶數割 家屋稅 營業稅 雜種稅 營業稅附加稅 (三十年三月大藏省告示第十一號ヲ以テ追加)

市町村稅 (二十五年大藏省告示第三十九號ヲ以テ區町村費ヲ市町村稅ト改ム)

直接國稅 府縣稅 附加稅 段別割 (二十五年大藏省告示第三十九號ヲ以テ稅目ヲ改ム)

市町村歲入出豫算表式 (二十一年三月 内務省令第二號)

明治二十一年法律第一號市制町村制ニ依リ市町村歲入出豫算表式左ノ通相定ム

市町村歲入出豫算表式

某府(縣)某市某郡某町(村)(某町村組合)明治何年度歲入出總計豫算

市町村制中直接税間接税ノ類別、市町村歲入出豫算 七十三 表式

歳入

歳入豫算高

歳出

經常費豫算高

一金

臨時費豫算高

合計金(臨時費ノ豫算ナキトキハ此合計ヲ省ク)

歳入出差引

殘金

歳入出差引殘金及歳出ノ精算殘金ハ翌年度繰越金ニ編入スルヲ通例ト爲ス
 下雖モ若シ該殘金又ハ歳入豫算ニ對スル實收額ノ増減金額等特ニ其處分ヲ
 要スルトキハ豫メ其方法ヲ議定シ本案ニ列掲スヘシ例ヘハ殘金ノ處分ニ付
 テハ其殘金總額ノ何歩ハ基本財産何歩ハ豫備費何歩ハ翌年度繰越金ニ編入
 スヘント掲記シ又豫算ニ對スル實收ノ増減ニ付テハ何收入何税ノ増額ハ何

收入何税ノ實收減額ヲ補填シ猶ホ殘金アルトキハ何々(基本財産、豫備費、
 翌年繰越金等)ニ編入スヘント掲記スルノ類
 某府(縣)某市某郡某町(村)某町村組合明治何年度歳入出豫算表

歳入

科 目	前年度豫算額	本年度豫算額	附 記
第一款 財産ヨリ生 スル收入			
一			
二			
三			
第二款 使用料及 手数料			
一			

市町村歳入出豫算表式

一	二	三	第三款 土木費	一	二	三	第四款 教育費	一	二

一	二	三	第五款 衛生費	一	二	三	第六款 救助費	一	二	三	第七款 警備費

二	第九款 諸稅及負擔	三	第八款 勸業費	三	第七款 雜費

市町村歲入出豫算表式

三	第十款 市(町)村公債費	一	第十款 雜支	一	第十款 雜支
合 計					

市町村歲入出豫算表式

臨時費

八十二

科目	前年度豫算額		本年度豫算額		附記
	前年度	本年度	前年度	本年度	
第一款					
合計					
通計					

明治何年何月何日提出

市町村長 何 某(自署)

記載例

- 一 經常歳出ハ毎會計年度普通支出ヲ要スヘキ歳出ヲ編入シ臨時歳出ハ時ニ依リ若クハ偶然生スヘキ歳出例ヘハ異常ノ土木工事ニ係ル費用及臨時傳染病ノ豫防費等ノ類ヲ編入スヘシ
- 二 歳入歳出科目欄内ニハ物件又ハ費項ノ細節前年度豫算額本年度豫算額ニハ各其金額附記欄内ニハ各其事由ノ梗概ヲ記入スヘシ例ヘハ歳入ノ部財産ヨリ生スル收入ニ在テハ貸地料、藏敷料、貸金利子(科目)何圓(金額)某所字何(宅地原野)貸地料一箇月何圓、某所土藏幾棟一棟ニ付何圓、共有金貸附元金何千圓ハ年幾割此利金何圓何百圓二月幾割此利金何圓(附記)歳出ノ部役所役場費ニ在テハ市町村長給料、助役給料委員報酬、(科目)何圓(金額)年俸何圓幾人、月給何圓幾人、一箇年何圓ノ割何箇月分(附記)ト記載スルノ類
- 三 財産ヨリ生スル收入ノ款ニハ動産、不動産ノ所得及瓦斯水道ノ如キ工事ノ市町村入出歳豫算表式

八十三

- 所得ヲモ編入スヘシ
- 四 雑收入ノ款ニハ加入金渡船賃、橋梁錢、不用品賣拂代、竹木拂代、過怠金、料金、賠償金、其他ノ收入ニシテ他ノ各款ニ屬セサル諸收入ヲ編入スヘシ
- 五 市町村税中地價割ニ付テハ地租ニ對スル歩合、營業割戸別割及家屋割ニ付テハ地方税營業税雜種稅戸數割又ハ家屋稅ニ對スル歩合ヲ掲載スヘシ
- 六 市町村特別稅ヲ設クルトキハ戸別割又ハ家屋割ノ次ニ之ヲ掲載スヘシ
- 七 諸稅及負擔ノ款ニハ市町村有地所ノ地租又ハ地租割及郡費負擔等ノ類ヲ編入スヘシ
- 八 雑支出ノ款ニハ火災保險料、山番給、墓地費等他ノ各款ニ屬セサル諸支出ヲ編入スヘシ
- 九 雑收入又ハ雑支出ニ編入シ難キ收支アル等別ニ一款ヲ設クルノ必要アルトキハ適宜之ヲ設クルコトヲ得
- 十 歳入歳出科目中其節目數多シ涉ルモノハ適宜ニ項目ヲ設クルヲ得例ヘハ役

- 場費中ニ給料雜給需用費ノ項目ヲ設ケ尙其細節ヲ編次スル加シ
- 十一 上級ノ經濟(國庫地方稅ノ類)ヨリ補助金アルカ若クハ人民ヨリ寄付金アルトキハ歳入ノ部ニ在テハ前年度繰越金ノ次各其一款ヲ設ケ歳出ノ部ニ在テハ該當費目ノ金額欄内ニ内金何圓何補助又ハ寄付金ト附記スヘシ
- 十二 豫備費ヲ置クトキハ雑支出ノ次ニ其一款ヲ設クヘシ若シ精算殘餘ヲ生スルトキハ順次之ヲ次年度ニ繰越スコトヲ得
- 十三 瓦斯燈水道等ノ類ニシテ別ニ豫算ヲ設クルヲ必要トスルトキハ適宜之ヲ調製スルコトヲ得
- 十四 町村組合ニ在テハ分擔法ニ依リ歳入科目第五款町村稅ノ款ニ於テ左ノ如ク掲載スルモ妨ケナシ

第五款	町村稅
某町ノ負擔	

市町村歳入出豫算表式

一	地價割	
二	營業割	
三	戸別割	
	某村ノ負擔	
一	地價割	
二	營業割	
三	戸別割	

市町村制ノ最終調査人口(二十三年七月)

(内務省令第三號)

市制第三百三十條及町村制第三百三十五條ニ規定セル市町村ノ人口ハ内閣統計局ニ

於テ調査シ官報ヲ以テ報告スル最近ノ人口ニ依ル但該報告ニ掲クル人口調査期日後市町村ヲ廢置分合シ又ハ其ノ境界ヲ變更シタルトキハ其ノ處分以後ノ調査ニ屬スル人口ノ報告アルマテノ間其ノ處分ヲ爲シタルトキノ現在ニ依リ調査シタル人口ニ依ル其ノ人口ハ府縣知事ニ於テ之ヲ調査シ管内ニ台示スヘシ(三十二年十二月内務省令第五十八號ヲ以テ改正三十四年五月内務省令第十二號ヲ本項中改正)

町村制第九條全條改正(明治二十八年)

(法律第七號)

第九條 町村公民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス

町村公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ其裁判ノ確

市町村制ノ最終調査人口、町村制第九條全條改正

定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ時變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ
町村公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項乃至第三項ノ場合ニ當ルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタル方爲メ公民タルノ權ヲ得可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ
前項ノ職務ニ在ル町村吏員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其職ヲ停止スルコトヲ得

市制中加除(明治三十三年三月法律第四十六號)

第六十條第一項但書第二項但書及第三項中東京、京都、大阪ノ下並第四項中「東京市、京都、市大阪市」ノ下ニ「及人口二十萬以上ノ市」ヲ加フ
第百條削除

第百三十三條第二項中「東京市、京都市、大阪市」ノ下ニ「及人口二十萬以上ノ市」ヲ加フ

市制町村制中加除(明治三十三年三月法律第四十七號)

市制第百十五條ニ左ノ一項ヲ加フ
市ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得
市制第百二十一條第二項ヲ削ル

町村制第百條削除

町村制第百十九條ニ左ノ一項ヲ加フ
町村ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

町村制第百二十五條第二項ヲ削ル

市制中加除、市制町村制中加除、市制町村制中改正 八十九

市制町村制中改正(明治三十三年三月法律第四十八號)

市制第二百二十二條第三號中「地租七分ノ一」ヲ「地租五分ノ一」ニ改ム

町村制第二百二十六條第三號中「地租七分ノ一」ヲ「地租五分ノ一」ニ改ム

●府縣制郡制

府縣制

郡制

內務省令第六號ノ件

內務省令第十七號ノ件

內務省令第十八號ノ件

內務省令第十九號ノ件

內務省告示第五十九號ノ件

勅令第二百二十六號ノ件

勅令第二百二十七號ノ件

勅令第二百二十八號ノ件

勅令第二百七十六號ノ件

內務省告示第六十九號ノ件

勅令第二百八十五號ノ件

市制町村制中改正(明治三十三年三月法律第四十八號)

市制第二百二十二條第三號中「地租七分ノ一」ヲ「地租五分ノ一」ニ改ム

町村制第二百二十六條第三號中「地租七分ノ一」ヲ「地租五分ノ一」ニ改ム

●府縣制郡制

府縣制

郡制

內務省令第六號ノ件

內務省令第十七號ノ件

內務省令第十八號ノ件

內務省令第十九號ノ件

內務省令第二十號ノ件

內務省告示第五十九號ノ件

勅令第二百二十六號ノ件

勅令第二百二十七號ノ件

勅令第二百二十八號ノ件

勅令第二百七十六號ノ件

內務省告示第六十九號ノ件

勅令第二百八十五號ノ件

内務省令第二十五號ノ件
勅令第三百十五號ノ件
勅令第三百十六號ノ件
内務省令第二十九號ノ件
内務省令第三十一號ノ件
内務省令第三十二號ノ件
内務省令第七號ノ件
勅令第八十一號ノ件
内務省令第十四號ノ件
勅令第二百四十八號ノ件
内務省令第十七號第一條第三項改正
内務省令第十八號第一條第三項改正
内務省告示第六十九號中改正
勅令第三百十五號中改正

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル府縣制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年三月十五日

内閣總理大臣 侯爵山縣有朋
内務大臣 侯爵西郷從道

法律第六十四號

府縣制

第一章 總則

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 府縣參事會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 府縣行政

第一款 府縣吏員之組織及任免

第二款 府縣官吏府縣吏員之職務權限及處務規程

附則 附則目次

一

二

二

一七

二四

二四

二五

二八

二八

三九

第三章

給料及給與

三四

第五章

府縣ノ財務

三五

第一節

財産營造物及府縣和

三五

第二節

歳入出豫算及決算

四二

第六章

府縣行政・監督

四四

第七章

附則

四八

第二章

府縣ノ組織

三一

第一節

府縣ノ職權

三一

第二節

府縣ノ職員

三一

第三節

府縣ノ事務

三一

府縣制

府縣制

第一章 總則

第一條 府縣ハ從來ノ區域ニ依リ郡市及島嶼ヲ包括ス

第二條 府縣ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務

並從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處

理ス

第三條 府縣ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣ノ境界ニ涉リテ郡市町村境界ノ變更アリタルトキハ府縣ノ境界モ亦自ラ

變更ス所屬未定地ヲ市町村ノ區域ニ編入シタルトキ亦同シ

本條ノ處分ニ付財産處分ヲ要スルトキハ内務大臣ハ關係アル府縣郡市參事會

及町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム但シ法律ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラ

府縣制 圖則

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第四條 府縣會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ都市ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル毎二一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎三一人ヲ増ス

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

第六條 府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内

ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選舉權ヲ有ス

府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス

家督相続ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ付被相続人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

府縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住所屬府縣内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ノ爲中斷セラレルコトナシ

左ニ掲クル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

一 其ノ府縣官吏及有給吏員

府縣制 府縣會、組織及選舉

二 檢察警察官吏及收稅官吏

三 神官僧侶其ノ他諸宗教師

四 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

選舉事務ニ關係アル官吏吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

府縣ノ爲請員ヲ爲ス者又ハ府縣ノ爲請員ヲ爲ス法人ノ役員ハ其ノ府縣ノ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス

府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第七條 府縣會議員ハ名譽職トス

府縣會議員ノ任期ハ四年トス
議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲解任ヲ要スル

者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 府縣會議員中議員アルトキ及府縣會議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又

ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲議員ノ選舉ヲ要スルトキハ三箇月以内ニ之ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス
補闕議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル議員ハ次ノ改選期マテ在任ス

第九條 町村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ノ選

舉人名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ

選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十條 市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日マテニ

其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

府縣制 府縣會、組織及選舉

第十一條 選舉人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ九月十五日マテニ當該行政廳ノ證明ヲ得テ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期限内ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

第十二條 郡市長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登錄セラレサルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ郡市長ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ
前項郡市長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得
選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十四

日マテ之ヲ据置クヘシ
府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ
本條ニ依リ郡市長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示シ郡長ハ本人住所地ノ町村長ニ通知シ町村長ハ之ヲ告示スヘシ
確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ確定裁決書者ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス
確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス
異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効トナリタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿調製ノ期日マテニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スル限ニ在ラス

府縣制 府縣會、組織及選舉

前項名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ定ムル所ニ

依レ

第十三條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區投票ヲ行フヘキ日時及選舉スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ選舉ノ日ヨリ少クトモ二十日前ニ之ヲ發スヘシ

第十四條 府縣會議員ノ選舉ハ郡市長之ヲ管理ス

第十五條 投票所ハ市役所町村役場又ハ市町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ設ケ市町村長其ノ事務ヲ管理ス

前項投票所ハ市町村長ニ於テ選舉ノ日ヨリ少クトモ五日前ニ之ヲ告示スヘ

特別ノ事情アル地ニ於テハ命令ヲ以テ二箇以上ノ投票所ヲ設ケ其ノ投票ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第十六條 市町村長ハ臨時ニ其ノ管理スル投票區域内ニ於ケル選舉人中ヨリ投

票立會人二名乃至四名ヲ選任スヘシ

投票立會人ハ名譽職トス

第十七條 選舉人ノ外投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票所ノ事務ニ従事スル者

投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

選舉人ハ投票所ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ

投票スヘシ

選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函ス

ヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス
自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

府縣制 府縣會、組織及選舉

九

投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用リヘシ

第十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ市町村長之ヲ決スヘシ

第二十條 市町村長ハ投票録ヲ製シ投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第二十一條 投票ヲ終リタルトキハ町村長ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票函及投票録ヲ選舉會場ニ送致スヘシ

第二十二條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投票期日ヲ定メ選舉會ノ期間マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第二十三條 選舉會ハ郡役所市役所又ハ郡市長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開クヘシ

前項選舉會ノ場所ハ郡市長豫メ之ヲ告示スヘシ

第二十四條 郡長ハ各投票所ヨリ參會シタル投票立會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選

舉立會人二名乃至六名ヲ定ムヘシ

市長ハ選舉人中ヨリ選舉立會人二名乃至六名ヲ選任スヘシ

選舉立會人ハ名譽職トス

第二十五條 郡市長ハ選舉長ト爲リ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市ニ於テハ投票ノ翌日選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタルトキハ其ノ由ヲ選舉録ニ記載スヘシ但シ場合ニ依リ選舉會ハ郡ニ於テハ投票函到達ノ日市ニ於テハ投票ノ日之ヲ開クコトヲ得

前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第二十六條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十七條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用井サルモノ

二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

府縣制 府縣會、組織及選舉

十二

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
四 被選舉権ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十五條 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ
敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之
ヲ決スヘシ

第二十九條 府縣會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス
投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當
選者ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票ノ數多キ者、投票ノ數相同キトキハ
年長者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ同年月ナルトキハ選舉長抽籤
シテ之ヲ定ム

第三十條 選舉長ハ選舉條ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ

期設シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名シ投票選舉人名簿其ノ他關係書類
ト共ニ選舉ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第三十一條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同
時ニ選舉條ヲ寫テ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヲ否ヲ府
縣知事ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ヲ告知ヲ受ケタル日
ヨリ十日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ府縣知事ニ申立ツヘシ
定期改選増員選舉補闕選舉等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ數
選舉ニ當リタルトキハ前項ノ例ニ依ル

前三項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス
第六條第七項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二倍

日以内ス
府縣制 府縣會、組織及選舉

第三十二條 府縣會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セザリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ由テ當選セザリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セザリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セザリシ者二人以上アルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第三十三條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第三十四條 選舉人選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得前項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ

府縣知事ニ於テ選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラズ第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十五條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トス但シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セザルトキハ其ノ當選ヲ無効トス第三十六條 選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票數ハ査定ニ錯誤ヲ犯スル爲メ又ハ選舉ノ際被選舉權ヲ有セザル爲當選無効ト確定シタルトキハ第二十九條及第三十一條ノ例ニ依ル

第三十七條 府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セザル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ府縣參事會之ヲ決定ス

府縣制 府縣會 組織及選舉

府縣會ニ於テ其ノ議員中選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタル下キハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ府縣知事ニ於テ被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

府縣會議員其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第三十八條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ其ノ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十九條 第四條第三項但書ノ市ニ於テハ市長トアルハ區長又市役所アルハ區市役所トアルハ區役所ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十一條 府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
 - 二 決算報告ニ關スル事
 - 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料府縣稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事
 - 四 不動産ノ處分並買受讓受ニ關スル事
 - 五 積立金數等ノ設置及處分ニ關スル事
 - 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ
- 府縣制 府縣會、職務權限及處務規程 十七

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

第四十條 府縣會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

抛棄ヲ爲ス事

七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アル甲
ノハ此ノ限ニ在ラス

八 其ノ他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ關スル事項

第四十二條 府縣會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ
得

第四十三條 府縣會ハ法律命令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第四十四條 府縣會ハ府縣ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ府縣知事若ハ内務
大臣ニ呈出スルコトヲ得

第四十五條 府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

府縣會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ府縣會召集ニ應セス若ハ成
立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タフシテ直ニ處
分ヲ爲メコトヲ得

第四十六條 府縣會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラス

第四十七條 府縣會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ

第四十八條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキ
ハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

第四十九條 府縣知事及其ノ委任若ハ囑託ヲ受ケタル官吏吏員ハ會議ニ列席シ
テ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲
議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第五十條 府縣會ハ通常會及臨時會トス

通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ三十日以内トス臨時會ハ必要アル場合
ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ七日以内トス

臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事
府縣制 府縣會、職務權限及處務規程 十九

件アルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第五十一條 府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十四日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ

此ノ限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第五十二條 府縣會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコト

ヲ得ス

第五十三條 府縣會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決ス

ル所ニ依ル

第五十四條 議長及議員ハ自己若ハ父母祖父母妻子孫兄弟姊妹ノ二身上ニ關ス

ル事件ニ付テハ府縣會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得

ス

第五十五條 法律命令ノ規定ニ依リ府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ既

名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル

者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取リ之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ

二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ議長抽籤

シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數

ナルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他ハ第

十八條第二十七條及第 十八條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ選舉ニ付テハ府縣會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若ハ連名投票ノ法ヲ用

タルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第五十六條 府縣會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十七條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ

府縣制 府縣會、職務權限及處務規程

議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十八條 府縣會議員ハ會議中無禮ノ言ヲ用非又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十九條 會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

ハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ議

第四十九條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第六十二條 府縣會議書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第六十三條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シ會議ノ願未並出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルヲ要ス其ノ議員ハ府縣會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第六十四條 府縣會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ内務大臣ノ許可ヲ受ケ

會議規則ニハ此ノ法律並會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ府縣會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

府縣制 府縣會、職務權限及庶務規程

第三章 府縣參事會

第一款 組織及選舉

第六十五條 府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣知事府縣高等官二名及名譽職參事會
員ヲ以テ之ヲ組織ス

府ノ名譽職參事會員ハ八名トシ縣ノ名譽職參事會員ハ六名トス

府縣高等官ニシテ府縣參事會員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命ス

第六十六條 名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

府縣會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

名譽職參事會員中國員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其

順序ハ選舉同時ナルトキハ投票數ニ依リ投票同數ナルトキハ年長者ヲ取リ同

年月ナルトキハ抽籤ニ依リ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ仍舊

員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ府縣會議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ但

シ名譽職參事會員ハ後任者就任ノ日マテ在任ス

第六十七條 府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス府縣知事放除アルトキハ高

等官參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

第二款 職務權限及處務規程

第六十八條 府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル

事

二 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急務ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ

招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ代テ議決スル事

三 府縣知事ヨリ府縣會ニ提出スル議案ニ付府縣知事ニ對シ意見ヲ述フル

府縣副 府縣參事會組織及選舉職務權限及處務規程 二十五

事

四 府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

六 府縣ニ係ル訴訟訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項

第六十九條 府縣參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲシテ府縣ニ係ル出納ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ検査ニハ府縣知事又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス

第七十條 第四十四條第四十五條第四十九條及第六十二條ノ規定ハ府縣參事會ニ之ヲ準用ス

第七十一條 府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ

府縣參事會ノ會期ハ府縣知事之ヲ定ム

第七十二條 府縣參事會ノ會議ハ傍聴ヲ許サス

第七十三條 府縣參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十八條第二ノ議決ヲ爲ストキハ府縣知事高等官參事會員ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

府縣參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

會議ノ頭末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及參事會員二名以上之ニ署名スヘシ
第七十四條 第五十四條ノ規定ハ府縣參事會員ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ハ府縣制 府縣參事會職務權限及處務規程

依前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事ハ補充員ニシテ
 其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第六十六條第三項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ
 仍其ノ數ヲ得サルトキハ府縣會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指
 名シ其副員ヲ補充スヘシ
 議長及其ノ代理者共ニ除席セラレタルトキハ年長ノ會員ヲ以テ假議長ト爲ス

第四章 府縣行政

第一款 府縣吏員ノ組織及任免

第七十五條 府縣ニ有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得

前項ノ府縣吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第七十六條 府縣ニ府縣出納吏ヲ置キ官吏員ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ命ス
 第七十七條 府縣ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ臨時若ハ常設ノ委

員ヲ置クコトヲ得

委員ノ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得
 テ府縣知事之ヲ定ム

第二款 府縣官吏府縣吏員ノ職務權限及處

務規程

第七十八條 府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ府縣ヲ代表ス

府縣知事ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事

二 府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事

三 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ

監督スル事

府縣制

府縣行政、府縣吏員ノ組織及任免
 府縣官吏府縣吏員ノ職務權限及處務規程

四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

五 證書及公文書類ヲ保管スル事

六 法律命令又ハ府縣會若ハ府縣參事會ノ議決ニ依リ使用料手数料府縣稅

及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事項

第七十九條 府縣知事ハ議案ヲ府縣會ニ提出スル前之ヲ府縣參事官ノ審査ニ付
シ若府縣參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ
府縣會ニ提出スヘシ

第八十條 府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡島ノ
官吏吏員又ハ市町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得

府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ府縣吏員ニ臨時
代理セシムルコトヲ得

第八十一條 府縣知事ハ府縣吏員ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處

分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

府縣知事ハ府縣吏員ノ懲戒處分ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ或給

料ヲ支給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ府縣ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命

セラレルコトヲ得ス

第八十二條 府縣會若ハ府縣參事會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命

令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ

依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付

シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル府縣會若ハ府縣參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコト

ヲ得

府縣會若ハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ
意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議

府縣制 府縣行政、府縣官吏府縣吏員ノ職務權限 三十一
及處務規程

決テ改メサルトキハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第八十三條 府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ府縣ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ内務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得

第八十四條 府縣知事ハ期日ヲ定メテ府縣會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第八十五條 府縣會若ハ府縣參事會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

第五十四條第七十四條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ府縣會ニ於テ其ノ招集前告示セラレタル事件ニ關シ議案ヲ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

府縣參事會ノ決定若ハ裁決スヘキ事項ニ關シテハ本條第一項第二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル府縣知事ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ諒願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ府縣會若ハ府縣參事會ニ報告スベシ

第八十六條 府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府縣知事ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ府縣參事會ニ報告スヘシ

第八十七條 府縣參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ議決ニ依リ府縣知事ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第八十八條 官吏ノ府縣行政ニ關スル職務關係ハ此ノ法律中規定アルモノヲ除ク外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第八十九條 府縣出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第九十條 府縣吏員ハ府縣知事ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

府縣制 府縣行政、府縣官吏、府縣吏員ノ職務權限 三十三 及處務規程

府縣制 府縣行政、府縣官吏、府縣吏員ノ職務權限 三十三 及處務規程

第九十一條 委員ハ府縣知事ノ指揮監督ヲ承ケ財産若ハ營造物ヲ管理シ其ノ他府縣行政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第九十二條 府縣ノ事務ニ關スル處務規程ハ府縣知事之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第九十三條 有給府縣吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法ハ府縣知事之ヲ定ム

第九十四條 府縣會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

第九十五條 有給府縣吏員ノ退職料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ前條第二項ノ例ニ依リテ之ヲ定ム

第九十六條 退職料退職給與金遺族扶助料及費用辨償ノ給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十七條 給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料費用辨償其ノ他諸給與ハ府縣ノ負擔トス

第五章 府縣ノ財務

第一款 財産營造物及府縣稅

第九十八條 府縣ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

第九十九條 府縣ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一箇人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

府縣制 給料及給與府縣ノ財務、財産營造物及府縣稅三十五

第百條 此ノ法律中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手数料ニ關スル細則ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料ニ

四以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得
過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ府縣知事之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百一條 府縣ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第百二條 府縣ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令又ハ從來ノ慣例ニ依リ府縣ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第百三條 府縣稅及其ノ賦課徵收方法ニ關シテハ法律ニ規定アルモノヲ除ク外勅令ノ定ムル所ニ依ル

府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ニ分賦スルコトヲ得
第百四條 府縣内ニ住所ヲ有スル者ハ府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第百五條 三箇月以上府縣内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在中初ニ遡リ府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第百六條 府縣内ニ住所ヲ有セス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖府縣内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ若ハ使用シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ

府縣内ニ於テ特定ノ行為ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業者トシ其ノ收入ニ對シ又ハ行為ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ其ノ法人タルトキ亦

同シ但シ國ノ事業者ハ行為ニ對シテハ此限ニ在ラス
第百七條 納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若ハ使用スル土地家屋物件又ハ府縣外

ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生スル收入ニ對シテハ府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在一府縣以上ニ涉ル者ノ收入ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ其ノ收入ヲ各府縣ニ平分シ其ノ一部ニシテ賦課スヘシ但シ土地家屋物件又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生スル收入ハ此限ニ在ラス

府縣制 府縣ノ財務、財産營造物及府縣稅

第百八條 一府縣以上ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係府縣ニ於テ營業稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ關係府縣知事協議ノ上其ノ歩合ヲ定メ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ若協議調ハサルトキハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第百九條 府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ハ府縣會ノ議決ニ依リ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得

市町村會ニ於テ府縣會ノ議決ニ依リ定マリタル期限内ニ其ノ議決ヲ爲ササルトキ若ハ不適當ノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

第百十條 府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノニ關シテハ法律勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルモノヲ除ク外市町村稅ノ例ニ依ル

第百十一條 府縣内ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第百十二條 府縣ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ府縣内一部ノ市町村其ノ他公

共團體若ハ一部ノ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百十三條 府縣稅ノ減免若ハ納稅ノ延期ハ特別ノ事情アル者ニ限り府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得

第百十四條 市制施行ノ府縣ニ於テハ郡廳舍建築修繕費及郡役所費ハ郡ニ關スル部分ノ負擔トス

第百十五條 府縣稅ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ノ交付後三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

府縣制 府縣ノ財務、財產營造物及府縣稅

第百三條第二項ノ場合ニ於テ市町村ハ府縣受ノ分賦ニ關シ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ヲ申立テ爲スコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

使用料及手数料ノ徵收ニ關シテモ亦第一項及第三項ノ例ニ依ル

本條ノ決定ニ關シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員市町村吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百十六條 府縣稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該行政廳ハ日出ヨリ日没マテノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間家宅ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

府縣稅使用料手数料夫役現品ニ代フル金銀過料其ノ他府縣ノ收入ヲ定期内ニ納メザル者アルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ國ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條第三項ノ場合ニ於テ郡島ノ官吏吏員市町村吏員ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員市町村吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條第一項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第百十七條 府縣ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲メ又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スニ付府縣會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

府縣制 府縣ノ財務 財產營造物及府縣稅 四十一

府縣ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス府縣參事會ノ議決ヲ經テ一
ツ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歳入出豫算及決算

第百十八條 府縣知事ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ年度開始前府縣會ノ
決ヲ經ヘシ

府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ財産表ヲ提出スヘシ

第百十九條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコ
トヲ得

第百二十條 府縣費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又
數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各
年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百二十一條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設ケヘシ
但シ府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百二十二條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ其ノ要領ヲ
告示スヘシ

第百二十三條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設ケルコトヲ得

第百二十四條 決算ハ翌々年ノ通常會ニ於テ之ヲ府縣會ニ報告スヘシ

府縣知事ハ決算ヲ府縣會ニ報告スル前府縣參事會ノ審査ニ付スヘシ若府縣知
事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ決算
ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ内務大臣ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百二十五條 豫算調製ノ式並置目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ内
務大臣之ヲ定ム

第百二十六條 府縣吏員ノ身元保證及賠償責任ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ
府縣副 府縣ノ財務、財産營造物及府縣稅 四十三

第六章 府縣行政ノ監督

第二百二十七條

府縣ノ行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第二百二十八條

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ此

ノ法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ翌日ヨリ起算ス
此ノ法律ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付スヘシ
前項異議ノ決定書ハ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

此ノ法律ニ規定スル異議ノ申立若ハ訴願ノ提起ニ關スル期間ノ計算並天災事變ノ場合ニ於ケル特例ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス
異議ヲ申立又ハ訴願訴訟ヲ提起スル者アルトキハ行政廳及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムル場合ニ限り處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第二百二十九條

内務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セ

タルヤ否ヲ監視スヘシ内務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第二百三十條

内務大臣ハ府縣行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第二百三十一條

内務大臣ハ勅裁ヲ經テ府縣會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

府縣會解散ノ場合ニテ於ハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ
府縣制 府縣行政ノ監督

解散後始メテ府縣會ヲ招集スルトキハ府縣知事ハ第五十條第二項ノ規定ニ拘

ラス内務大臣ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第三百二十二條 府縣吏員ノ服務規律ハ内務大臣之ヲ定ム

第三百二十三條 左ニ掲タル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 學藝美術又ハ歴史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事
- 二 使用料手數料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事
- 三 寄附若ハ補助ヲ爲ス事
- 四 不動産ノ處分ニ關スル事
- 五 第一百十二條ニ依リ夫役及現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 六 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事
- 七 特別會計ヲ設クル事

第三百三十四條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ

要ス

- 一 府縣債ヲ起シ或起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更スル事但シ第十七條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 地租三分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 三 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ下渡ス歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

第三百三十五條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セヌト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フコトヲ得

第三百三十六條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經スルテ處分スルコトヲ得

第七章 附則

第三百二十七條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十五號府縣制ヲ施行シタル府縣ニハ明治二十二年七月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第三百二十八條 島嶼ニ關スル府縣ノ行政ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

町村制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第三百二十九條 法律命令中別段ノ規定アルモノヲ除ク外此ノ法律ニ規定スル郡長ノ職務ハ島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行ヒ町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戶長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第四百十條 從前郡市經濟ヲ異ニシタル府縣ノ財産處分ニ關スル規定ハ内務大

臣之ヲ定ム

餘別ノ事情アル府縣ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ市郡部ノ經濟ヲ分別シ市部會郡部會市部參事會郡部參事會ヲ置キ其ノ他必要ナル事項ニ關シ別段ノ規定ヲ設クムコトヲ得

第四百十一條 明治二十三年法律第八十八號府縣稅徵收法及地方稅ニ關スル從前ノ規定ハ此法律ニ依リ變更シタルモノヲ除ク外勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルマテ其ノ效力ヲ有ス

第四百十二條 明治二十三年法律第三十五號府縣制ノ規定ニ依リ選舉セラレタル府縣會員府縣議事會員ハ此法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ

本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十五號府縣制ヲ施行シタル府縣ニ於テハ府縣會議員ノ改選ヲ要スルコトアルモ其ノ改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

第四百十三條 此ノ法律施行ノ際府縣會及府縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ニハ府縣制 附則

第百四十四條 此ノ法律施行ノ際議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ノ調製

三限リ第九條乃至第十二條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ
得但シ其ノ選舉人名簿ハ翌年調製スル選舉人名簿確定ノ日マテ其効力ヲ有
ス

第百四十五條 此ノ法律ニ定ムル直接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示

第百四十六條 明治十三年第十五號布告府縣會規則明治十四年第八號布告區郡
部會規則明治二十二年法律第六號府縣會議員選舉規則其ノ他此ノ法律ニ牴觸
スル法規ハ此ノ法律施行ノ府縣ニ於テハ其効力ヲ失フ

第百四十七條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

府縣制改正法律案理由書

現行ノ府縣制ハ之ヲ數年ノ成績ニ徵スルニ其ノ闕典著明ナルモノアルヲ認ム或
ハ其ノ規定ノ精密ナラス若クハ文義ノ明晰ヲ缺クカ爲ニ徒ラニ執行機關ト議事
機關トノ間ニ紛議ヲ醸生シ私人ト官廳トノ間ニ解釋ヲ異シ從テ訴願訴訟ヲ滋生
シ或ハ其ノ規定ノ實際ニ適當セサルカ爲ニ專ラ法文ニ依ラント欲スレハ往々行
政ノ實ヲ害シ務メテ實際ノ利便ニ從ハント欲スレハ却テ法文ニ背戾スルカ如キ
形迹ヲ顯ハシ或ハ規定ノ闕如セルカ爲ニ實際ニ必要ナル政務モ之ヲ施行スルコ
ト能ハサルノ憾アリ顧フニ地方自治行政ノ弛張ハ惟リ自治團體ノ盛衰ニ關スル
ノミナラス施テ其ノ影響ヲ國政ニ及ホササルモノ鮮シ而シテ其ノ行政ノ準繩々
ル制度ノ闕漏既ニ此クノ如ナル以上ハ宜シク速ニ適當ノ改正ヲ施シ以テ其ノ政
務ノ整理ト振張トヲ企圖セサルヘカラス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル郡制改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
御名 御璽
明治三十二年三月十五日

内閣總理大臣 侯爵山縣有朋
内務大臣 侯爵西郷從道

法律第六十五號

三

國文部 教育司
國文部 教育司

三十三號三十八號
三十三號三十八號
三十三號三十八號

郡制

第一章 總則

第二章 郡會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 郡參事會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 郡行政

第一款 郡吏員ノ組織及任免

第二款 郡官吏郡吏員ノ職務權限及處務規程

目次

一	五
二	五
三	五
四	五
五	五
六	五
七	五
八	五
九	五
十	五
十一	五
十二	五
十三	五
十四	五
十五	五
十六	五
十七	五
十八	五
十九	五
二十	五
二十一	五
二十二	五
二十三	五
二十四	五
二十五	五
二十六	五
二十七	五

第三款	給料及給與	二
第五章	郡ノ財務	三二
第一款	財産營造物及郡費	三三
第二款	歳入出豫算及決算	三四
第六章	郡組合	三七
第七章	郡行政ノ監督	三九
第八章	附則	四〇
		四四

郡制

第一章 總則

第一條 郡ハ從來ノ區域ニ依リ町村ヲ包括ス

第二條 郡ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並ニ法律勅令ニ依リ郡ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 郡ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

郡ノ境界ニ涉リテ市町村境界ノ變更アリタルトキハ郡ノ境界モ亦自ラ變更ス

町村ヲ變シテ市ト爲シ若ハ市ヲ變シテ町村ト爲シ又ハ所屬未定地ヲ町村ノ區域ニ編入シタルトキ亦同シ

本條ノ處分ニ付財産處分ヲ要スルトキハ内務大臣ハ關係アル府縣郡市參事會及町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

郡制 總則

第二章 郡會

第一款 組織及選舉

第四條 郡會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ町村ノ區域ニ依ル但シ事情ニ依リ郡長ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ數町村ノ區域ニ依リ選舉區ヲ設クルコトヲ得
町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村ト看做ス

第五條 郡會議員ノ員數ハ十五人以上三十人以下トス

郡ノ狀況ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ得テ前項ノ員數ヲ四十人マテ増加スルコトヲ得

郡會議員ノ定數及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ郡會議員ノ數ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

第六條 郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ郡會議員ノ選舉權ヲ有ス

郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者ハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

郡會議員ハ住所ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住所同郡内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

郡會議員ノ選舉權及被選舉權ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ノ爲中斷セラレルコトナシ

左ニ掲クル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

郡制 郡會、組織及選舉

三 所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二 其ノ郡ノ官吏及有給吏員

三 検事警察官吏及收税官吏

四 神官僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク
ヘシ

選舉事務ニ關係アル吏員ハ其ノ選舉區ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メ
タル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

郡ノ爲請員ヲ爲ス者又ハ郡ノ爲請員ヲ爲ス法人ノ役員ハ其ノ郡ノ郡會議員ノ
被選舉權ヲ有セス

第七條 郡會議員ハ名譽職トシ
郡會議員ノ任期ハ四年トス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲解任ヲ要スル
者ハ抽籤ニ以テ之ヲ定ム

第八條 郡會議員中副員アルトキ及郡會議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲又ハ議
員ノ配當ヲ更正シタル爲議員ノ選舉ヲ要スルトキハ三箇月以内ニ之ヲ行フハ
シ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ヲ除ク外本條第一項ニ依リ選舉セラレタル議員ハ次ノ改選期マテ在
任ス

第九條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フ
ハキ選舉區投票ヲ行フハキ日時及選舉スル議員ノ員數ヲ記載シ新ニ選舉スル
名簿ヲ調製シテ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ少トモ七十日前其ノ他ノ場合ニ於テ
ハ少クトモ十四日前ニ之ヲ發スル

第十條 郡會議員ノ選舉ハ町村長之ヲ管理ス但シ數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シ
郡制 郡會、郡議及選舉

タル場合ニ於テハ郡長ノ指定シタル町村長之ヲ管理ス
 第十一條 町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿
 チ調製スヘシ但シ數町村ノ區域ニ依リ選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉チ
 管理スル町村長ニ之ヲ送付スヘシ
 選舉人其ノ住所チ有スル町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ前項ノ期日
 チニ當該行政廳ノ證明ヲ得テ其ノ住所地ノ町村長ニ届出ツヘシ其ノ期限内ニ
 届出チ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セ
 ス
 選舉チ管理スル町村長ハ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間町村役場又
 ハ其ノ他ノ場所ニ於テ選舉人名簿チ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ
 異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前項ノ手續チ爲スコト能ハスシテ名簿ニ
 登錄セラレサルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトチ得此ノ場合
 ニ於テハ町村長ハ其ノ申立チ受ケタレ日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ
 府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトチ
 得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村長ヨリモ亦訴願及訴訟チ提起スルコ
 トチ得

町村長ハ第三項異議ノ決定ニ依リ又ハ第四項訴願ノ裁決確定シ若ハ訴訟ノ判
 決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉期日ノ前七日マテニ修正チ加ヘテ確
 定名簿トナスヘシ

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ郡内ノ各選舉區ニ涉リ同時ニ調製シタルモノハ
 確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ適用ス其ノ郡内一部ノ選舉
 區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ該選舉區ニ於テノミ行
 フ選舉ニ之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ
 修正ヲ要スルトキハ選舉期日ノ前七日マテニ修正スヘシ

郡制 郡會、組織及選舉

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラルヘキ確定裁決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス
確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セザルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第十二條 選舉會ハ町村役場若ハ選舉ヲ管理スル町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開クヘシ

數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタルトキハ選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ四日前ニ選舉會ノ場所ヲ定メ關係町村長ニ通知スヘシ

選舉會ノ場所ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ三日前町村長ニ於テ之ヲ告示スヘシ
特別ノ事情アル地ニ於テハ命令ヲ以テ選舉分會ヲ設ケ其ノ選舉ニ關シ特別ノ規定ヲ設ルコトヲ得

第十三條 選舉ヲ管理スル町村長ハ臨時ニ選舉人中ヨリ二名乃至四名ノ選舉立會人ヲ選任シ其ノ町村長ハ選舉長トナル

選舉立會人ハ名譽職トス

第十四條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス

選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

郡制 郡會、組織及選舉

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投票スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ郡長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

第十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用フサルモノ

二 一票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ

敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 投票ノ拒否並効力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉

長之ヲ決スヘシ

第十八條 郡會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票

ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者

ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票ノ數多キ者ハ投票ノ數相同キトキハ

年長者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ同年月ナルトキハ選舉長抽籤

シテ之ヲ定ム

第十九條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終ラタル後之ヲ

朗讀シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ヲ署名シ投票選舉人名簿其ノ他關係書類

ト共ニ選舉ノ効力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第二十條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時

ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ郡長ニ報告スヘシ

當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ郡

郡制 郡會、組織及選舉

長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘカチ郡長ニ申立ツヘシ
定期改選増員選舉補闕選舉等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ數選舉ニ當リタルトキハ前項ノ例ニ依ル

前二項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス
第六條第七項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス

第二十一條 郡會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ由テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ由テ當選セザリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ由テ當選セザリシ者二人以上止アルトキハ年長者ヲ取リ同年月アルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セザリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セザリシ者二人以上アルトキハ選舉長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第二十二條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ郡長ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第二十三條 選舉人選舉者ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ出四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ

郡長ニ於テ選舉者ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス第二十條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ郡參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條郡參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

郡制 郡會、組織及選舉

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長選舉ヲ管理セル町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十四條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トス但シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第二十五條 選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲メハ選舉ノ際被選舉權ヲ有セサル爲當選無効ト確定シタルトキハ第十八條及第二十條ノ例ニ依ル

第二十六條 郡會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ郡參事會之ヲ決定ス

郡會ニ於テ其ノ議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ郡長ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

郡長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ郡長ニ於テ被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

本條郡參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

郡會議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第二十七條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ其ノ決定若ハ裁決ニ付テハ之ヲ告示スヘシ

第二十八條 郡會議員ノ選舉ニ付テハ市町村會議員選舉ニ關スル前則ヲ準用ス

第二款 職務權限及處務規程

第二十九條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ニ關スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
- 四 不動産ノ處分或買受讓受ニ關スル事
- 五 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 六 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
- 七 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムルコト但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

八 其ノ他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項

第三十條 郡會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十一條 郡會ハ法律命令ニ依リ選舉ヲ行フヘシ

第三十二條 郡會ハ郡ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ郡長若ハ監督官廳ニ呈出スルコトヲ得

第三十三條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

郡會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ郡會招集ニ應ゼス者ハ成立セシメ又ハ意見ヲ呈出サルヲ以テ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受ケルカサメ

第三十五條 郡會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ
第三十六條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキ

郡制 郡會、職務權限及處務規程

ハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ
第三十七條 郡長及其ノ委任若シ囑託ヲ受ケタル官吏吏員ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス
前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第三十八條 郡會ハ通常及臨時會トス
通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ十四日以内トス臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限リ之ヲ開ク其ノ會期ハ五日以内トス
臨時會ニ付スヘキ事件ハ豫メ之ヲ告示スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ郡長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第三十九條 郡會ハ郡長之ヲ招集ス
招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十日前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ郡會ハ郡長之ヲ開閉ス

第四十條 郡會ハ議員定員ノ半数以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得
第四十一條 郡會ノ議事ハ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十二條 議長及議員ハ自己若シ父母祖父母妻子孫兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ郡會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス
第四十三條 法律命令ノ規定ニ依リ郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半数ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半数ヲ得タル者ニキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム其ノ他ハ第五條乃至第十七條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ選舉ニ付テハ都會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若ハ連名投票ノ法ヲ用ヰルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

第四十四條 都會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 郡長ヨリ傍聴禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聴禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其ノ可否ヲ決スヘシ

第四十五條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ハ會議ヲ開閉シ

會議ノ秩序ヲ保持ス

第四十六條 都會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用非又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第四十七條 會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議會

アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ議長

ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場

合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第四十八條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲スト

キハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於

テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テ

ハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十九條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ第

三十七條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第五十條 都會ニ書記ヲ置キ議長ニ輔屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十一條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記

郡制 郡會 職務權限及處務規程

職シシムヘシ會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スルヲ要ス其ノ議員ハ郡會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ郡長ニ報告スヘシ

第五十二條 郡會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

會議規則ニハ此ノ法律並會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ郡會ノ議決ニ依リ三日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三章 郡參事會

第一款 組織及選舉

第五十三條 郡ニ郡參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 郡長
- 二 名譽職參事會員 五名

第五十四條 名譽職參事會員ハ郡會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

郡會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ
名譽職參事會員中副員アルトキハ郡長ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選舉同時ナルトキハ投票數ニ依リ投票同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤ニ依リ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依ル仍副員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ
補闕員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ郡會議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ但シ名譽職參事會員ハ後任者就任ノ日マテ在任ス

第五十五條 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス郡長故障アルトキハ出席會員中ヨリ臨時議長ヲ互選スヘシ

第二款 職務權限及處務規程

郡制 郡參事會、組織及選舉、職務權限及處務規程 二十三

第五十六條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
 - 二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ限ナシト認ムル事
 - 三 郡長ヨリ郡會ニ提出スル議案ニ付郡長ニ對シ意見ヲ述フル事
 - 四 郡會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事
 - 五 郡費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 六 郡ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事
 - 七 其ノ他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事項
- 第五十七條 郡參事會ハ名譽職參事會員中ヨリ委員ヲ選舉シ之ヲ郡ニ係ル出納ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ檢査ニハ郡長又ハ其ノ指命シタル官吏若ハ吏員之ニ立會フコトヲ要ス
 第五十八條 第三十二條第三十三條第三十七條及第五十條ノ規定ハ郡參事會ニ之ヲ準用ス

第五十九條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス若名譽職參事會員中數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ

郡參事會ノ會期ハ郡長之ヲ定ム

第六十條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第六十一條 郡參事會ノ議長及名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第五十六條第二ノ議決ヲ爲ストキハ郡長ハ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

郡參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長ハ決スル所ニ依

會議ノ議決ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名ス

第六十二條 第四十二條ノ規定ハ郡參事會員ニ之ヲ準用ス但シ同條ノ規定ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ第五十四條第三項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ副員ヲ補充スヘシ

第四章 郡行政

第一款 郡吏員ノ組織及任免

第六十三條 郡ニ有給ノ郡吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定員ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム前項ノ郡吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第六十四條 郡ニ郡出納吏ヲ置キ官吏員ノ中ニ就キ郡長之ヲ命ス

第六十五條 郡ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ臨時若ハ常設ノ委員ヲ

置クコトヲ得委員ハ名譽職トス

委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第二款 郡官吏郡吏員ノ職務權限及處務規程

第六十六條 郡長ハ郡ヲ統轄シ郡ヲ代表ス

郡長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 郡費ヲ以テ支辨スヘキ事件ヲ執行スル事
- 二 郡會及郡參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發スル事
- 三 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

四 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

五 證書及公文書類ヲ保管スル事

郡制

郡行政、郡吏員ノ組織及任免
郡官吏郡吏ノ職務權限及處務規程

六 法律命令又ハ郡會若ハ郡參事會ノ議決ニ依リ使用料手数料郡費及夫役現

品ヲ賦課徴收ナル事

七 其ノ他法律命令ニ依リ郡長ノ職權ニ屬スル事項

第六十七條 郡會ハ議案ヲ郡會ニ提出スル前之ヲ郡參事會ノ審查ニ付シ若シ郡參事會下其ノ意見ヲ異ニスルトキハ郡參事會ノ意見ヲ議案ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ

第六十八條 郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ町村吏員ニ補助執行セシメ若ハ委任スルコトヲ得

郡長ハ郡ノ行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡吏員ニ臨時代理セシ

ムルコトヲ得

第六十九條 郡會若ハ郡參事會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若ハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル止

仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ヲ

不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴訟法提起スルコトヲ得

郡會若ハ郡參事會ノ議決公益ニ害アリ認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依

リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メ

サルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコト

ヲ得

第七十條 郡會若ハ郡參事會ニ於テ郡ノ收支ニ關シ不適當ノ議決ヲ爲シタル

キハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再

議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但

シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

郡制 郡行政 郡官吏郡吏ノ職務權限及職務規程 二十九

前項府縣知事ノ處分ニ不服アル郡會若ハ郡參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十一條 郡長ハ期日ヲ定メテ郡會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第七十二條 郡會若ハ郡參事會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣

知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得第四十二

條第六十二條ノ場合ニ於テ會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

郡會若ハ郡參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ郡會ニ於テ其ノ

招集前告示セラレタル事件ニ關シ議案ヲ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

郡參事會ノ決定若ハ裁決スヘキ事項ニ關シテハ本條第一項第二項ノ例ニ依ル

此ノ場合ニ於ケル郡長ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提

起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次ノ會期ニ於テ之ヲ郡會若ハ郡參事會ニ報告スヘシ

第七十三條 郡參事會ノ權限ニ關スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之

ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ郡長ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ郡參事會ニ報告スヘシ

第七十四條 郡參事會ノ權限ニ關スル事項ハ其ノ議決ニ依リ郡長ニ於テ專決處

分スルコトヲ得

第七十五條 官吏ノ郡行政ニ關スル職務關係ハ此ノ法律中規定アルモノヲ除ク

外國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第七十六條 郡出納吏ハ出納事務ヲ掌ル

第七十七條 郡吏員ハ郡長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第七十八條 委員ハ郡長ノ指揮監督ヲ承ケ財產若ハ營造物ヲ管理シ其ノ他郡行

政事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第七十九條 郡ノ事務ニ關スル處務規程ハ郡長之ヲ定ム

第三款 給料及給與

郡制 郡行政、給料及給與

第八十條 有給郡吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

第八十一條 郡會議員名譽職參事會員其ノ他名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用、

辨償ヲ受ケルコトヲ得

費用辨償額及其ノ支給方法ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ府縣知事之ヲ定ム

第八十二條 有給郡吏員ノ退職料退職給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ郡會

ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム若許可スヘカラスト認ムルト

キハ内務大臣之ヲ定ム

第八十三條 退職料退職給與金遺族扶助料及費用辨償ノ給與ニ關シ異議アルト

キハ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府縣

事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十四條 給料旅費退職料退職給與金遺族扶助料費用辨償其ノ他諸給與ハ郡ノ負擔トス

第五章 郡ノ財務

第一款 財産營造物及郡費

第八十五條 郡ハ積立金設等ヲ設ケルコトヲ得

第八十六條 郡ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徴收

シ又ハ特ニ一個人ノ爲コスル事務ニ付手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第八十七條 此ノ法律中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手数料ニ關スル細則

ハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム其ノ細則ニハ遊料二圓

以下ノ罰則ヲ設ケルコトヲ得

郡制 郡ノ財務、財産營造物及郡費

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ郡長之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 郡ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ク補助ヲ爲スコトヲ得

第八十九條 郡ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ニ關スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

前項ノ負擔ハ財産ヨリ生スル收入及其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノト外之ヲ郡内各町村ニ分賦スヘシ

第九十條 郡費分賦ノ割合ハ其ノ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル各町村ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ依ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アルトキハ郡長ハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第九十一條 郡内ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ内務大臣ノ定ムル所ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第九十二條 郡ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ郡内一部ノ町村ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ニ算出シテ賦課スヘシ
夫役又ハ現品ヲ賦課セラレタル町村ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九十三條 使用料手数料ノ徵收ニ關シ告知ヲ受ケタル者其ノ告知ニ違法若ク錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ郡長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ郡會參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ府
郡制 郡ノ財務、財産營造物及郡費

縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ決定及裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提
起スルコトヲ得

第九十四條 使用料手数料過料其ノ他郡ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキ
ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ
本條ニ記載スル徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及
時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條第一項ノ場合ニ於テ町村吏員ノ處分ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其
ノ裁決又ハ郡長ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服ア
ル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村吏員ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スル
コトヲ得
本條第一項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第九十五條 郡ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ郡ノ永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ
要スル爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ郡會ノ議決ヲ經テ郡債ヲ起
スコトヲ得

郡債ヲ起スニ付郡會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還
ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

郡ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲メ本條ノ例ニ依ラス郡參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ
借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歲入出豫算及決算

第九十六條 郡長ハ每會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始前郡會ノ議決ヲ經
ヘシ

郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ財産表ヲ提出スヘシ

郡制 郡ノ財務、歲入出豫算及決算

第九十七條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第九十八條 郡費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第九十九條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ但シ郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第一百條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百一條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第一百二條 決算ハ翌々年ノ通常會ニ於テ之ヲ郡會ニ報告スヘシ

郡長ハ決算ヲ郡會ニ報告スル前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ府縣知事ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百三條 豫算調製ノ式並費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第一百四條 郡吏員ノ身元保證及賠償責任ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 郡組合

第一百五條 特定ノ事務ヲ共同處理セシムル必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ヲ設置スルコトヲ得郡組合ノ廢止若ハ變更ニ付テモ亦同シ

第一百六條 郡組合ヲ設置スルトキハ府縣知事ハ關係アル郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合會ノ組織事務ノ管理方法並其ノ費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

郡制 郡組合

第百七條 郡組合ハ法人トス

郡組合ニ關シテハ本章中規定スルモノヲ除外此ノ法律ノ規定ヲ準用ス但シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七章 郡行政ノ監督

第百八條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第百九條 此ノ法律中別段ノ規定アル場合ヲ除外郡ノ行政ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

此ノ法律ニ規定スル異議若ハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ但シ此ノ法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ二十

一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ翌日ヨリ起算ス

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

此ノ法律ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付スヘシ前項異議ノ決定書ハ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

此ノ法律ニ規定スル異議ノ申立若ハ訴願ノ提起ニ關スル期間ノ計算並天災事變ノ場合ニ於ケル特例ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

異議ヲ申立テ又ハ訴願訴訟ヲ提起スル者アルトキハ行政廳及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムル場合ニ限り處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第百十條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヲ又ハ公益ヲ害セサルヲ

郡副 郡行政ノ監督

否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之ヲ爲行政事務ニ関シテ報告ヲ爲サシメ書類帳簿
ヲ徴シ並實地ニ就キ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

監督官廳ハ郡行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第百十一條 監督官廳ハ郡ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減ス
ルコトヲ得

第百十二條 內務大臣ハ郡會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

郡會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以內ニ議員ヲ選舉スヘシ

解散後始メテ郡會ヲ召集スルトキハ郡長ハ第三十八條第二項ノ規定ニ拘ラス
府縣知事ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第百十三條 郡吏員ノ服務規律ハ內務大臣之ヲ定ム

第百十四條 左ニ掲グル事件ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事
- 二 使用料手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第百十五條 郡債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ之ヲ
變更スルトキハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス但シ第九十五
條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第百十六條 左ニ掲グル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 二 寄附若ハ補助ヲ爲ス事
- 三 不動産ノ處分ニ關スル事
- 四 第九十二條ニ依リ夫役及現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ハ此ノ限ニ在
ラス

五 總歳費ヲ定メ若ハ變更スル事

六 特別會計ヲ設クル事

第百十七條 郡ノ行政ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ監督官廳
ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコト

郡制 郡行政ノ監督

ヲ得

第百十八條 郡ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ其ノ職權ヲ府縣知事ニ委任スルコトヲ得

第百十九條 府縣知事ハ郡吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

府縣知事ハ郡吏員ノ懲戒處分ヲ行ハントスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ支給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ郡ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セラレルコトヲ得ス

第八章 附則

第百二十條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニ於テ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時期ハ

府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第百二十一條 郡内總町村ニ屬スル事業並其ノ財産營造物ハ小學校ヲ除ク外此ノ法律施行ノ日ヨリ郡ニ移ルモノトス

第百二十二條 此ノ法律ノ規定ニ依リ府縣知事府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ敷府縣ニ涉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事及府縣參事會ヲ指定スヘシ

第百二十三條 島嶼ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ムルコトヲ得前項ノ島嶼ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第百二十四條 明治二十三年法律第三十六號郡制ノ規定ニ依リ選舉セラレタル郡會議員郡參事會員ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ

本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニ於テハ郡會議員ノ改選ヲ要スルコトアルモ其ノ改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

郡制 附則

第二百二十五條 此ノ法律施行ノ際郡會及郡參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急
施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ルマテノ間郡長之ヲ行フ

第二百二十六條 此ノ法律ニ定ムル府縣參事會ノ職務ハ府縣制ヲ施行シ府縣參事
會ノ成立ニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第二百二十七條 此ノ法律ニ定ムル直接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示
ス

第二百二十八條 明治十一年第十七號布告郡區町村編制法其ノ他此ノ法律ニ牴觸
スル法規ハ此ノ法律施行ノ地ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十九條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

郡制改正法律案理由書

現行ノ郡制ハ之ヲ數年ノ成績ニ徵スルニ其ノ闕典著名ナルモノアルヲ認ム或ハ其
ノ規定ノ精密ナラス若ハ文義ノ明晰ヲ缺クカ爲ニ徒ラニ執行機關ト議事機關トノ
間ニ紛議ヲ醸生シ私人ト官廳トノ間ニ解釋ヲ異ニシ從テ訴願訴訟ヲ滋生シ或ハ其
規定ノ實際ニ適當セサルカ爲ニ專ラ法文ニ依ラント欲スレハ往々行政ノ實ヲ害シ
務メテ實際ノ利便ニ從ハント欲スレハ却テ法文ニ背戾スルカ如キ形迹ヲ顯ハシ或
ハ規定ノ闕如セルカ爲ニ實際ニ必要ナル政務モ之ヲ施行スルコト能ハサルノ憾ア
リ願フニ地方自治行政ノ弛張ハ惟リ自治團體ノ盛衰ニ關スルノミナラス施テ其ノ
影響ヲ國政ニ及ホササルモノ鮮シ而シテ其ノ行政ノ準繩タル制度ノ闕漏既ニ此ク
ノ如クナル以上ハ宜シク速ニ適當ノ改正ヲ施シ以テ其ノ政務ノ整理ト振張トヲ企
圖セサルヘカラス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

本年法律第六十四號府縣制第二百五條及同第六十五號郡制第百三條ニ依リ定
ムヘキ豫算調製ノ式並設置自流用ニ關スル規定ハ當分ノ内總テ從前ノ例ニ依ル
明治三十二年四月十三日 內務大臣 侯爵 西 郷 從 道

內務省令第六號

本年法律第六十四號府縣制第二百五條及同第六十五號郡制第百三條ニ依リ定
ムヘキ豫算調製ノ式並設置自流用ニ關スル規定ハ當分ノ内總テ從前ノ例ニ依ル
明治三十二年四月十三日 內務大臣 侯爵 西 郷 從 道

內務省令第十七號

本年法律第六十四號府縣制第五條第三項ニ依リ府縣會議員ノ配當ニ關スル件
ノ通定
明治三十三年五月二十日 內務大臣 侯爵 西 郷 從 道

(改廢)

第一條 府縣制第五條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ人口

ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

特別ノ事情アル府縣ニ付テハ內務大臣ハ別ニ配當標準ヲ加フルコトヲ得
本條ノ人口ハ內務大臣ノ告示シタル最近ノ人口表ニ依ル

內務省令第六號 內務省令第十七號

第二條 議員配當ノ更正ヲ要スルトキハ改選ノ際ヲ俟テ之ヲ行フ但シ議員ノ定數ニ異動ヲ生シ若ハ選舉區ノ増減アリタル場合ハ此限ニ在ラス

二

内務省令第十八號

本年法律第六十五號郡制第五條第四項ニ依リ郡會議員ノ配當ニ關スル件左ノ通定ム

明治三十二年五月二十日

内務大臣 侯爵 西 郷 從 道

(改廢)

第一條 郡制第四條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ郡會議員ノ數ハ人口ヲ標準トシケ之ヲ定ムヘシ

特別ノ事情アル郡ニ付テハ府縣知事ハ別ニ配當標準ヲ加フルコトヲ得

本條ノ人口ハ内務大臣ノ告示シタル最近ノ人口表ニ依ル

第二條 議員配當ノ更正ヲ要スルトキハ改選ノ際ヲ俟テ之ヲ行フ但シ選舉區ノ増減アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

内務省令第十九號

本年法律第六十四號府縣制第十五條第三項ニ依リ府縣會議員選舉投票ニ關スル件左ノ通定ム

明治三十二年五月二十日

内務大臣 侯爵 西 郷 從 道

第一條 府縣制第十五條第三項ニ依リ二箇以上ノ投票所ヲ設クルコトヲ要スルトキハ府縣知事之ヲ定ム

第二條 前條ノ場合ニ於テハ市町村長ハ投票所ノ一ヲ管理シ他ノ投票所ハ市町村長ノ指名シタル市町村吏員之ヲ管理ス

第三條 市町村長ノ指名シタル市町村吏員ノ管理スル投票所ニ關シテハ府縣制第十六條第十九條及第二十條ノ規定ヲ準用ス

第四條 投票ヲ終リタルトキハ市町村長ノ指名シタル管理者ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票圖及投票録ヲ市町村長ノ管理スル投票所ニ送致ス

内務省令第十八號内務省令第十九號

三

ハシ

町村長ニ於テ前項ノ送致ヲ受ケタルトキハ其ノ管理ニ係ル投票函及投票録ト
共ニ之ヲ選舉會場ニ送致スベシ

第五條 二箇以上ノ投票所ヲ設ケタル市 東京市京都市大
阪市ニ在テハ區ニ於テハ投票函ノ總テ
到達スルニ非サレハ選舉會ヲ開クコトヲ得ス

第六條 本令ニ規定スル市長ノ職務ハ東京市京都市大坂市ニ在テハ區長之ヲ行
ハ町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戶長之ヲ行フ

第七條 本令ニ規定スルモノハ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

内務省令第二十號

本年法律第六十五號郡制第十二條第四項ニ依リ郡會議員選舉ニ關スル件左ノ通
定ム

明治三十二年五月二十日 内務大臣 侯爵 西 郷 從 道

第一條 郡制第十二條第四項ニ依リ選舉分會ヲ設クルコトヲ要スルトキハ郡長
之ヲ定ム

第二條 選舉分會ハ郡制第十條ニ依リ選舉ヲ管理スル町村長ノ指名シタル町村
長其ノ他町官吏員之ヲ管理ス

選舉分會ニ於ケル選舉立會人及投票ノ拒否ニ關シテハ郡制第十三條及第十七
條ノ規定ヲ準用ス

第三條 選舉分會ノ管理者ハ選舉録ヲ製シテ投票ノ顛末ヲ記載シ投票ヲ終リタ
ル後選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名スベシ

第四條 前條ノ手續ヲ終リタルトキハ選舉分會ノ管理者ハ其ノ指定シタル選舉
立會人ト共ニ直ニ投票函及選舉録ヲ選舉本會ニ送致スベシ

第五條 選舉本會ニ於テハ選舉分會ノ投票函ノ總テ到達スルニ非サレハ投票ノ
點檢ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ於ケル選舉分會ニ付テハ郡長ハ適宜ニ其ノ
内務省令第二十號

選舉期日ヲ定メ選舉本會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得
第七條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

內務省告示第五十九號

明治三十二年內務省令第十七號及第十八號第一條末項ノ人口ハ明治三十一年內
務省告示第九十二號ニ依ルノ外島嶼ノ人口ハ左ノ通

明治三十二年五月二十日 內務大臣 侯爵 西 郷 從 道

東京府 小笠原島 四・三六二

伊豆七島 二五・〇四九

長崎縣對島 三四・五四四

島根縣隱岐 三六・〇一五

鹿兒島縣大島郡諸島 一五五・八九九

內務省告示第五十九號參照
明治三十一年九月十日 內務省告示第九十二號ハ同三十年十二月三十一日市町

村現住人口調ノ件ナリ

勅令第二百二十六號 明治卅二年六月六日

府縣會議員ノ選舉人名簿ニ關スル件

明治三十二年ニ於ケル府縣會議員選舉人名簿ノ調製ニ限リ府縣制第九條乃至第
十二條ノ期日及期間ヲ左ノ如ク定ム

一 府縣制第九條第一項ノ府縣會議員選舉資格査定ノ期日ヲ八月一日トシ選
舉人名簿送付ノ期限ヲ八月十五日トシ同條第二項ノ選舉人名簿調製ノ期限

ヲ八月二十五日トス

一 府縣制第十條ノ府縣會議員選舉資格査定ノ期日ヲ八月一日トシ選舉人名
簿調製ノ期限ヲ八月二十五日トス

一 府縣制第十一條ノ直接國稅届出ノ期限ヲ八月一日トス

一 府縣制第十二條第一項ノ選舉人名簿送覽ノ期間ヲ八月二十六日ヨリ七日

內務省告示第五十九號 勅令第二百二十六號 七

トシ異議ニ對スル決定ノ期限ヲ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日トシ同條第一
四項ノ選舉人名簿ノ確定期限ヲ九月二十日トシ同條第九項ノ府縣會議員選
舉資格査定ノ期日ヲ八月一日トス

八

勅令第二百二十七號 明治三十二年
六月六日

島嶼ノ府縣會議員選舉ニ關スル件

- 第一條 町村制ヲ施行セサル島嶼ハ府縣會議員ノ一選舉區トス
- 第二條 左ノ要件ヲ具備スル者ハ府縣會議員ノ選舉權ヲ有ス
- 一 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル滿二十五歳以上ノ男子
 - 二 一月ヲ構ヘ二年以來町村内ニ住所ヲ有シ其ノ町村ノ負擔ヲ分任シ及其ノ
町村内ニ於テ地租ヲ納メ若ハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者
 - 三 其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者
左ニ掲ケル者ハ府縣會議員ノ選舉權ヲ有セス

- 一 治産ノ禁ヲ受ケタル者
 - 一 公權停止中ノ者
 - 一 租稅滯納處分中ノ者
 - 一 公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者
 - 一 家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ復權ノ決定アルマテノ者
 - 一 公權剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキヨ
リ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテノ者
 - 一 陸海軍ノ現役ニ服スル者又ハ現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若ハ事
變ニ際シ召集中ノ者
- 第三條 府縣會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額
十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス
- 第四條 府縣會議員ハ他ノ町村ニ其ノ住所ヲ移スモ其ノ住所同府縣内ニ在ルト
キハ之ヲ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

勅令第二百二十七號

九

第五條 島嶼ノ府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ一月長役場管轄區域ヲ以テ一町村ト看做ス

第六條 本令ニ定ムルモノヲ除ク外島嶼ヨリ選出スル府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ總テ府縣制ノ規定ニ依ル

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

勅令第二百二十八號 明治三十二年六月六日

島嶼ニ關スル府縣行政ノ特例ニ關スル件

第一條 島嶼ノ經濟ト所屬本地ノ經濟トハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ分別スルコトヲ得

第二條 東京府下伊豆七島及小笠原島ニ於ケル府稅ノ賦課及府會議員ノ選舉ニ關シテハ當分從前ノ例ニ依ル

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

勅令第二百七十六號 明治三十二年六月十六日

府縣稅家屋稅ニ關スル件

府縣ハ其ノ府縣ノ全部若ハ一部ノ地ニ於ケル家屋ニ對シ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戶數割ヲ賦課スルコトヲ得ス
前項ニ依リ新ニ家屋稅ヲ賦課セントスルトキハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附則

本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

內務省告示第六十九號

勅令第二百二十八號 勅令第二百七十六號
附則

(改廢) 本年法律第六十四號府縣制第四百五十五條本年法律第六十五號郡制第二百二十七條
直接税ノ種類左ノ如シ

明治三十二年六月十九日

内務大臣 侯爵 西郷從道
大藏大臣 伯爵 松方正義

國稅

府縣稅

割註ハ三
年內示
告四插
務七テ
第ニテ
號七テ
入セラ
ル

地租 所得稅

所得稅法第三條第一項第二種ノ所得
中無記名債券ノ所得
除ク

營業稅

地租割 戶數割 家屋稅

營業稅 雜稅 營業稅附加稅

勅令第二百八十五號 明治三十二年六月二十日

市部會郡部會等ノ特例ニ關スル件

第一條 從來市部郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ニ於テハ内務大臣ハ其ノ區域ニ依リ市部郡部ノ經濟ヲ分別シ市部會郡部會市部參事會郡部參事會ヲ設ケシムルコトヲ得

第二條 市部會郡部會ハ各市部郡部ニ於テ選出シタル府縣會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

市部又ハ郡部ニ於テ選出スヘキ府縣會議員ノ數十二名ニ滿タサルトキハ府縣制第五條ノ定員ニ拘ラス之ヲ十二名トス

第三條 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府縣會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決ヲ經ヘキ事件トノ分別ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得

テ府縣知事之ヲ定ム若許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ定ム

第四條 市部會郡部會ヲ設ケタル縣ニ於テハ名譽職參事會員ノ定員ヲ八名トス

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ノ名譽職參事會員ハ各會ニ於テ其ノ定員ノ半數

勅令第二百八十五號 十三

ヲ選舉ス

市部參事會郡部參事會ハ府縣知事府縣高等官參事會員及各部會ニ於テ選舉シ

タル府縣名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 府縣費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入ノ割合ハ府縣會ノ議決ヲ經内務

大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム若許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大

臣之ヲ定ム

第六條 第三條第五條ノ事件ニ付テハ議員定員ノ五分ノ四以上出席スルニ非サ

レハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第七條 本令ニ規定スルモノヲ除ク外總テ府縣制ノ規定ヲ準用ス

第八條 市部會又ハ郡部會解散ヲ命セラレタルトキハ其ノ議員ハ府縣會議員ノ

職ヲ失フ

附則

第九條 本令ニ依リ市部會郡部會ヲ設ケル府縣ニ於テハ從來市部若ハ郡部ニ關

スル事件及市郡部連帶ニ關スル事件ハ本令ニ於テモ亦其ノ效力ヲ有ス

第十條 本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

内務省令第二十五號

本年勅令第二百八十五號ニ依リ左ノ府縣ニ於テハ從來ノ區域ニ依リ市部郡部ノ

經濟ヲ分別シ市部會郡部會市部參事會郡部參事會ヲ設ケヘシ

明治三十二年六月二十一日 内務大臣 侯爵 西 郷 從 道

東京府 京都府 大阪府 神奈川縣 兵庫縣 愛知縣 廣島縣

(改題) 勅令第三百十五號 明治三十二年六月二十八日

府縣行政及郡行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要セサル事項ニ關スル件

左ニ掲クル事項ハ主務大臣ノ許可ヲ要セス但シ郡ニ於テハ府縣知事ノ許可ヲ受

クヘシ 内務省令第二十五號 勅令第三百十五號

- 一 其ノ府縣郡ニ於テ從來徴收シタルモノト同種類ノ使用料手数料及其ノ細則ニ關スル件
- 二 其ノ府縣内ニ於ケル教育勸業衛生土木若ハ慈善ノ事業ニ對スル補助其ノ他其ノ府縣ニ於テ從來補助シタルモノト同種類ノ補助ニ關スル件
- 三 豫定價格五千圓未滿ノ府縣有不動産處分ニ關スル件
- 四 其ノ府縣ニ於テ從來賦課シタルモノト同種類ノ夫役現品ノ賦課ニ關スル件
- 五 支出總額十萬圓以内ノ府縣繼續費ニ關スル件
- 六 其ノ府縣ニ於テ從來設ケタルモノト同種類ノ特別會計ニ關スル件
- 七 府縣債ノ元本總額五萬圓郡債ノ元本總額千圓ニ達スルマテノ起債
- 八 地租二分ノ一以下ノ附加税ノ賦課ニ關スル件
- 九 警察費國庫下渡金ニ對スル支出金額ノ件

勅令第三百十六號 明治三十二年六月二十八日

府縣費ノ分賦及不均一賦課ニ關スル件

第一條 府縣ハ臨時少額ノ費用ノ爲特ニ賦課徴收ヲ爲スヲ要スル場合ニ於テノ其ノ費用ヲ府縣内市町村ニ分賦スルコトヲ得

前項ニ依リ分賦スヘキ費用ノ限度ハ内務大臣之ヲ定ム

第一項分賦ノ割合ハ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル市町村ノ直接國稅府縣稅ノ徴收額ニ依ル但シ本條ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アルトキハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得

第二條 市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ市部ニ屬スル部分ヨリ徴收スヘキ額ヲ市ニ分賦スルコトヲ得

第三條 法律命令中別ニ規定アルモノヲ除ク外市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事件ニシテ其ノ市部ト郡部ト利益ノ程度

勅令第三百十六號

ヲ異ニシ均一ノ賦課ヲ爲シ難キ事情アルトキハ其ノ費用ニ限り不均一ノ賦課
ヲ爲スコトヲ得

附則

第四條 本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

内務省令第二十九號

本年勅令第三百十六號第一條ニ依リ府縣ニ於テ市町村ニ分賦スルコトヲ得ヘキ
費用ノ限度ハ當該年度ノ府縣稅既定豫算額ノ十分ノ一トス

明治三十二年六月三十日

内務大臣 侯爵 西 郷 從 道

内務省令第三十一號

府縣會議員及郡會議員ノ選舉權等ニ關スル納稅届出ノ件左ノ通定ス

明治三十二年七月六日

内務大臣 侯爵 西 郷 從 道

第一條 府縣會議員及郡會議員ノ選舉人ニシテ所得稅法第三條第一項第二種ノ
所得中記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ納ムル場合ニ於テ其ノ納稅ニ付府縣制
第十一條及郡制第十一條第二項ニ依リ届出ヲ爲ストキハ納稅地市町村長ノ證
明ヲ得ルコトヲ要ス

第二條 所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ニ
關シ納稅地市町村長ノ請求アルトキハ同法第四十二條ニ依リ其ノ所得稅ヲ徵
收スル公共ノ團體若ハ組合又ハ銀行會社ハ之ニ應シ納稅ニ關スル事項ヲ通知
スヘシ

第三條 本令中市町村長トアルハ東京市京都市大阪市ニ於テハ區長市制町村制
ヲ施行セサル地ニ於テハ戶長又ハ之ニ準スヘキ者ニ準用ス

内務省令第二十二號 明治三十年

七月二十九日

府縣稅、地方稅及市町村稅滯納處分囑託方ノ件

府縣外ニ於テ府縣稅使用料手數料夫役現品ニ代フル金錢料其ノ他府縣ノ收入ノ滯納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ府縣知事ハ其處分ヲ爲スヘキ地ノ府縣知事ニ之ヲ囑託スルコトヲ得(明治三十三年省令第十六號ヲ以テ第一項改正) 郡外ニ於テ使用料手數料料其ノ他郡ノ收入ノ滯納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ郡長ハ其處分ヲ爲スヘキ地ノ郡長ニ之ヲ囑託スルコトヲ得 前二項ノ處分ノ執行ニ關シテハ府縣制第八十條郡制第六十八條ノ例ニ依ル市參事會町村長其ノ市町村外ニ於テ市町村稅ノ滯納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ其ノ處分ヲ爲スヘキ地ノ市參事會町村長ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

内務省令第七號

明治三十二年法律第六十四號府縣制第二百二十五條明治三十二年法律第六十五號郡制第三條ニ依リ費用並財務ニ關スル件左ノ通定ム

明治三十三年三月十三日

内務大臣 侯爵 西 郷 從 道

第一條 府縣稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシテ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ノ豫算ニ編入スヘシ

第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ

第四條 歲入ノ誤納過納トナリタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ仕拂フヘシ

歲出ノ誤拂過渡トナリタル金額現金前渡前金拂概算拂繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歲出ト爲スヘシ 内務省令第二十二號 内務省令第七號

第四條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第六條 繼續費ハ毎年度ノ仕拂殘額ヲ繼續年度ノ終リマテ遞次繰越使用スルコトヲ得

第七條 毎年度歳入歳出金ヲ出納スルハ翌年度七月三十一日限リトス

第八條 府縣ノ出納ニ關スル事務ハ年度經過後五箇月以内ニ完整スヘシ

第九條 歳入歳出豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部ヲ更ニ款項ニ區分スヘシ

第十條 歳入歳出豫算ヲ提出スルトキハ豫算説明ヲ付スヘシ

第十一條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スヘシ

第十二條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 府縣ノ收入支出ニシテ命令ヲ發スルヲ要スルモノハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員其ノ他職員ニ於テ之ヲ發ス

第十四條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金

額ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得但シ機密費ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ說明ヲ付スヘシ

第十六條 會計年度經過後ニ至リ歳入ニ不足ヲ生シ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第十七條 府縣出納吏ノ保管ニ屬スル現金及帳簿ハ府縣知事ニ於テ検査員ヲ命ジ少クトモ毎年一回之ヲ検査セシムヘシ

府縣出納吏解職セラレタルトキハ府縣知事ハ検査員ヲシテ現金及帳簿ヲ検査セシムヘシ

第十八條 府縣ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲府縣金庫ヲ置ク

第十九條 府縣金庫ハ府縣本金庫府縣支金庫トス

府縣本金庫ハ府縣廳所在地ニ之ヲ置キ府縣支金庫ハ府縣知事ニ於テ必要ト認

△此項ニ之ヲ置ケ

府縣本金庫ハ府縣支金庫ヲ總轄ス

第二十條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ府縣知事之ヲ定ム

金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ府縣知事ノ許可ヲ得其ノ責任ヲ以テ他ノ銀行又ハ其ノ他ノ者ヲシテ金庫事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第二十一條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金出納保管ニ付責任ヲ有ス

第二十二條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ擔保ヲ府縣知事ニ提出スヘシ其ノ擔保ニ關シテハ内務大臣ノ認可ヲ經府縣知事之ヲ定ム

第二十三條 府縣知事ハ府縣金庫ヲ監督シ検査員ヲシテ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査セシメ又必要ト認ムルトキハ隨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 本令ニ規定スノモノハ外必要ナル規定ハ府縣知事之ヲ定ム

第二十五條 本令ハ明治三十三年度所屬ノ収支ヨリ之ヲ適用ス但シ本令ノ規定ニシテ適用シ難キモノハ内務大臣ノ認可ヲ得テ當分其ノ施行ヲ延期スルコト

ヲ得

第二十六條 郡ノ財務ニ關スル規定ハ本令ニ準シ府縣知事之ヲ定ム

勅令第八十一號 明治三十三年三月二十九日

府縣稅徵收ニ關スル件

第一條 市町村ハ其ノ市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シ之ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負

前項府縣稅ノ徵收ニ關シテハ地租ノ附加稅ヲ除クハ外徵收金額百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第二條 市町村ハ避クヘカヲサル災害ニ因リ既收ノ稅金ヲ失ロタルトキハ其ノ稅金納入義務ノ免除ヲ府縣知事ニ申請スルコトヲ得

第三條 府縣知事前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ニ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内

勅令第八十一號

二十五

二十五

内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得

第四條 府縣稅ヲ徵收セムトスルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏

吏員ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ

調製シ之ヲ納稅人ニ交付スヘシ

府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ直ニ納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發

スルコトヲ得

納稅人ニ於テ徵收令書又ハ徵稅傳令書ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ納稅人ノ所

在知レサルトキハ徵稅令書ハ徵稅傳令書ヲ發シタル行政廳ニ於テ其ノ令書又

ハ傳令書ノ要領ヲ公示スルヲ以テ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第五條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ税金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ其

ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

徵稅令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ税金ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ

納稅ノ義務ヲ了ス

市町村ハ其ノ徵收シタル府縣稅ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ税金納

入ノ義務ヲ了ス

第六條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ニ於テ納期ヲ過キ税金ヲ完納セサルトキ

ハ市町村長ハ其ノ滯納ノ税目、金額及滯納人ノ住所氏名其ノ他必要ナル事項

ヲ記載シ之ヲ徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員ニ報告スヘシ

第七條 納稅人ニ於テ滯納處分、強制執行又ハ家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ

タトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル府縣稅ニ限リ納期前ト雖モ之

ヲ徵收スルコトヲ得法人ノ解散シタルトキ亦同シ

第八條 府縣稅ノ徵收期ハ府縣知事之ヲ定ム

第九條 市制町村制ヲ施行セサル地ニ於ケル府縣稅ノ徵收ニ關シテハ本令ノ規

定ヲ適用ス其ノ適用シ難キ事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第十條 本令ニ關スル細則ハ府縣知事之ヲ定ム

勅令第八十一號 附則 内務省令第十四號

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

内務省令第十四號

府縣郡ヨリ給料給與ヲ受クル吏員職員ニ對シ府縣郡ニ於テ退職料退職給與金遺族扶助料ノ支給ニ關スル規定ヲ設クルノ必要アルトキハ法律命令中別段ノ規定アルモナラバ除外ノ外府縣ニ在テハ府縣會、郡ニ在テハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

明治三十三年四月六日

内務大臣 侯爵 西 鄉 從 道

勅令第二百四十八號 明治三十三年五月二十六日

府縣出納吏及郡出納吏ノ身元保證並賠償責任ニ關スル件

第一條 府縣出納吏ハ府縣ニ對シ郡出納吏ハ郡ニ對シ其管掌ニ屬スル現金、證

券及物品ノ亡失毀損ニ付賠償ノ責任ヲ有ス

第二條 府縣出納吏、郡出納吏前條ノ現金、證券又ハ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ府縣出納吏ニ對シテハ府縣知事、郡出納吏ニ對シテハ郡長ニ於テ期間ヲ指定シ其ノ賠償ヲ命スヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキハ府縣出納吏ニ付テハ府縣參事會郡出納吏ニ付テハ郡參事會ノ議決ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

本條郡長ノ處分ニ不服アル郡出納吏ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル郡出納吏及府縣知事ノ處分ニ不服アル府縣出納吏ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ訴願ハ命令書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ

第三條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ府縣ニ在テハ府縣制第一百六條第二項乃至第六項郡ニ在テハ郡制第九十四條ノ例ニ依ル

勅令第二百四十八號

第四條 府縣出納吏、郡出納吏ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認メタルトキハ府縣知事ニ於テ其ノ種類、程度其ノ他身元保證ニ關シ必要ナル規定ヲ定ムルコトヲ得

內務省令第十七號第一條第三項改正

明治三十三年二月內務省令第三號ヲ以テ第三項改正
明治三十四年五月內務省令第十二號ヲ以テ第三項改正

本條ノ人口ハ內閣統計局ニ於テ調査シ官報ヲ以テ報告スル最近ノ人口ニ依ル但シ該報告ニ掲グル人口調査期日後郡市若ハ區ヲ廢置分合シ又ハ其ノ境界ヲ變更シタルトキハ其ノ處分以後ノ調査ニ屬スル人口ノ報告アルマテノ間其ノ處分ヲ爲シタルトキノ現在調査ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依ル其ノ人口ノ告示ナキモノニ付テハ府縣知事ニ於テ之ヲ調査シ管内ニ告示スベシ

內務省令第十八號第一條第三項改正

明治三十三年二月內務省令第三號ヲ以テ第三項改正
明治三十四年五月內務省令第十二號ヲ以テ第三項改正

本條ノ人口ハ內閣統計局ニ於テ調査シ官報ヲ以テ報告スル最近ノ人口ニ依ル但シ該報告ヲ掲グル人口調査期日後町村ヲ廢置分合シ又ハ其ノ境界ヲ變更シタルトキハ其ノ處分以後ノ調査ニ屬スル人口ノ報告アルマテノ間其ノ處分ヲ爲シタルトキノ現在調査ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依ル

內務省告示第六十九號中改正

明治三十二年九月內務省告示第九十七號ヲ以テ改正
府縣稅ノ關營業稅附加稅ノ下ニ所得稅附加稅ヲ加フ

勅令第三百十五號中改正

明治三十三年二月勅令第三十一號ヲ以テ追加
明治三十二年勅令第三百十五號中ニ左ノ一號ヲ加フ

傳染病豫防費國庫下渡金ニ對スル支出金額ノ件

內務省令第十七號第一條第三項改正 內務省令第十 三十一
八號第一條第三項改正 內務省告示第六十九號中改正
勅令第三百十五號中改正

6637

發行所
賣捌所
賣捌所
賣捌所

(電話本局三三三番)

東京市神田區一ツ橋通町七番地二、三號地
有斐閣書店
神田區一ツ橋通町七番地四、五號地
有斐閣書店
本郷區本郷一丁目
有斐閣書店
大坂市東區備後町四丁目
吉岡平助

編輯者
印刷者
發行者

江草斧太郎
東京市神田區一ツ橋通町七番地
山野金藏
東京市神田區一ツ橋通町七番地
松澤虹三
東京市麴町區下六番町十七番地

明治三十四年八月廿六日初版印刷
明治三十四年八月廿七日再版印刷
明治三十五年三月二日再版印刷
明治三十五年九月一日再版印刷
明治三十五年九月四日再版印刷

帝國六法全書與付

東京市麴町區下六番町十七番地
東京市神田區一ツ橋通町七番地
東京市神田區一ツ橋通町七番地
東京市神田區一ツ橋通町七番地
東京市神田區一ツ橋通町七番地
東京市神田區一ツ橋通町七番地

3071
2

577 B 53
1800

期期期期期
前前前前前
十十十十十
四四四四四
八八八八八
六六六六六
日日日日日
六六六六六
日日日日日
日日日日日
日日日日日
日日日日日

發 賣 賣 賣
行 隔 隔 隔
租 租 租 租

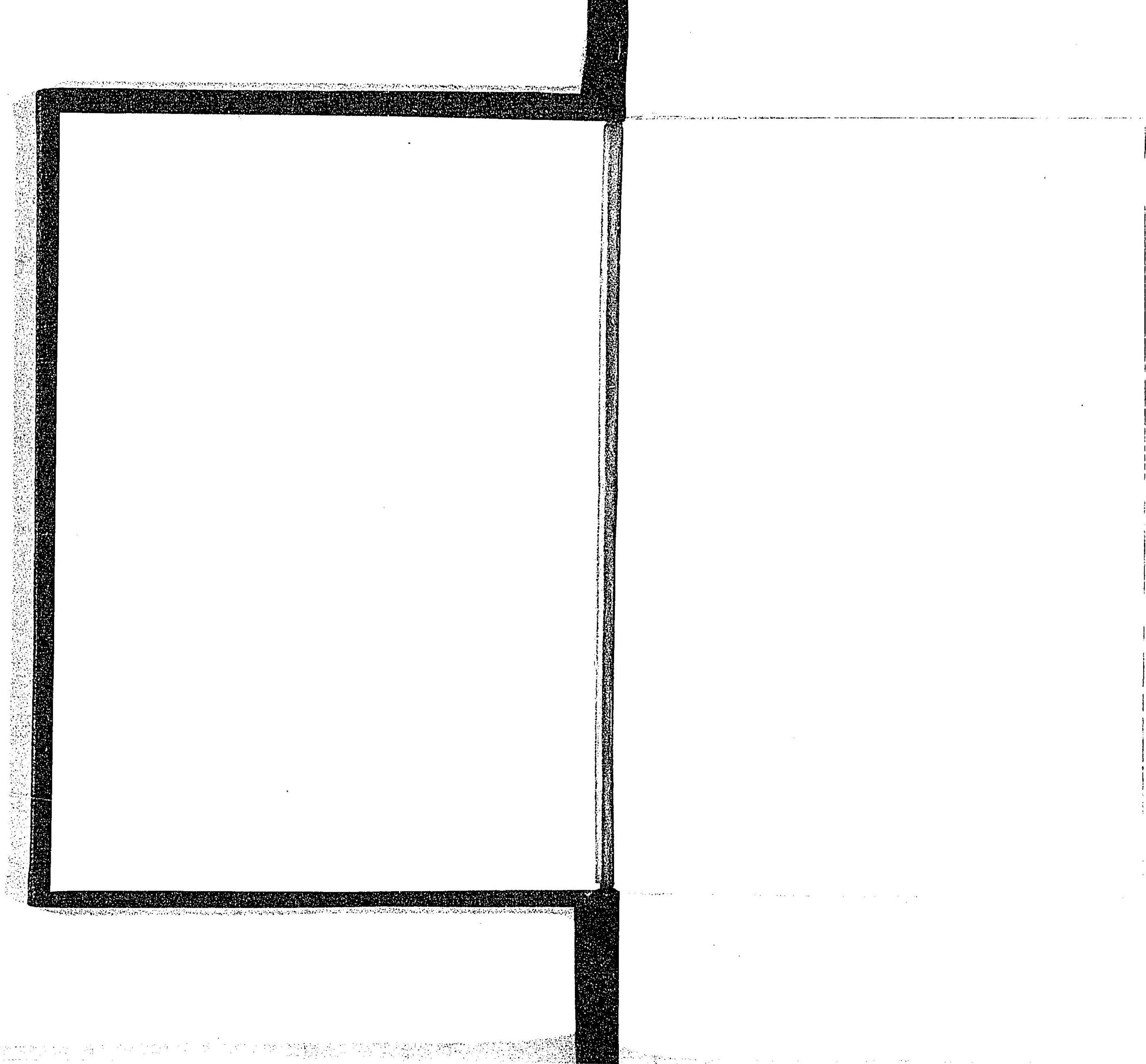
時 時 時
時 時 時
時 時 時
時 時 時

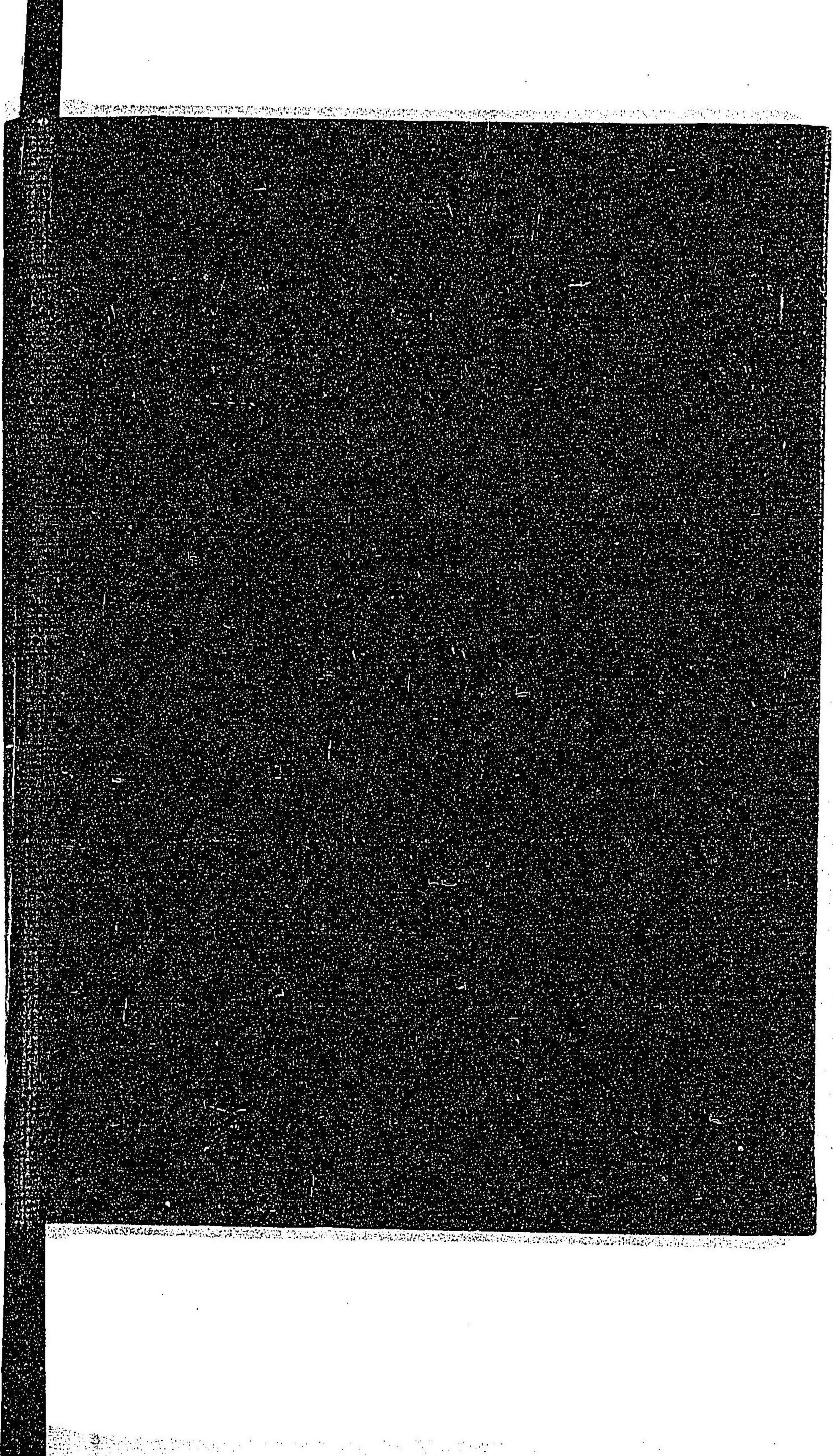
(新嘉坡三三三)

東京市轉出區一
東京市轉出區二
東京市轉出區三
東京市轉出區四
東京市轉出區五
東京市轉出區六
東京市轉出區七
東京市轉出區八
東京市轉出區九
東京市轉出區十

東京市轉出區

東京市轉出區





禁電子式複写

031061-001-9

CZ-5-048

帝国六法全書

山野 金蔵/編

3版

M35-44

BBC-0645



